

第 5 期 松本市地域福祉計画策定
に係る
アンケート調査結果報告書

松本市
令和 7 年 11 月

目次

第1章	調査実施概要	1
1.	調査の目的.....	1
2.	調査方法.....	1
3.	調査対象.....	1
4.	回収結果.....	1
5.	調査結果を見る際の留意点.....	1
第2章	回答結果	2
1.	回答者の属性.....	2
2.	暮らしの状況.....	5
3.	人とのつながりの状況.....	7
4.	相談や受援力について.....	13
5.	地域の様子について.....	20
6.	非常時の対応について.....	22
7.	松本市社会福祉協議会について.....	24
8.	市の取組みについて.....	25
9.	自由記述.....	26
第3章	資料編	34
1.	地域において課題だと感じていること（問29）課題に関する記述.....	34
2.	調査票.....	41

第1章 調査実施概要

1. 調査の目的

本調査は、第5期松本市地域福祉計画の策定に当たって、更なる地域福祉の向上と、市民一人ひとりが自分らしく暮らせる都市づくりを目指し、市民目線からの地域福祉が抱える課題を明確にすることで、松本市が「目指す地域の姿」の実現に向けて住民が持っている素養を明らかにすることを目的とする。

2. 調査方法

アンケート用紙を無作為抽出で選ばれた者に送付し、同封の返信用封筒による返送、又は二次元コードからのWEBフォームで回答を得ました。

3. 調査対象

- 対象者：18歳以上の住民1,500人（無作為抽出）
- 実施期間：令和7年6月16日(月)～7月4日(金)

4. 回収結果

- 回収数：784件
(郵送：556件／WEB：228件)
- 回収率：52.3%

回収率を年代ごとに見ると、70歳以上では68.4%の回収率となっていますが、年代が下がると回収率も下がり、18歳～29歳では36.7%になっています。

年代ごとの回答率

	送付数	回収数	回収率(%)
18～29歳	226	83	36.7
30～39歳	194	75	38.7
40～49歳	236	111	47.0
50～59歳	258	135	52.3
60～69歳	193	105	54.4
70歳以上	393	269	68.4
年齢未記入		6	
合計	1,500	784	52.3

5. 調査結果を見る際の留意点

- 報告書のパーセント数字は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合や、文中に示す数値とグラフの数値が一致しない場合があります。
- 図表内のNは該当する設問の回答者数を表しています。無回答を除いて集計しているため、設問ごとに回答者数が異なります。
- 1人の回答者が2つ以上の回答をすることができる複数回答の設問では、回答数の合計を回答者数(n)で割った比率を示しています。

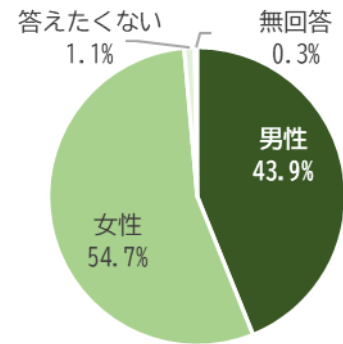
第2章 回答結果

1. 回答者の属性

- 性別の回答者の割合は、「男性」が 43.9%で「女性」が 54.7%と若干女性の回答者数が多くなっています。
- 年齢では、「75歳以上」が 23.5%で、70歳以上で見ると、全体の 34.3%を占めています。

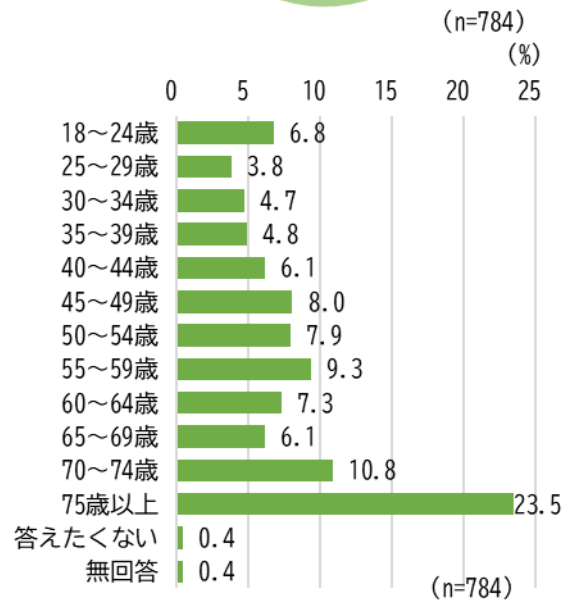
性別（問1）

	度数(人)	割合 (%)
男性	344	43.9
女性	429	54.7
答えたくない	9	1.1
無回答	2	0.3
合計	784	100.0%



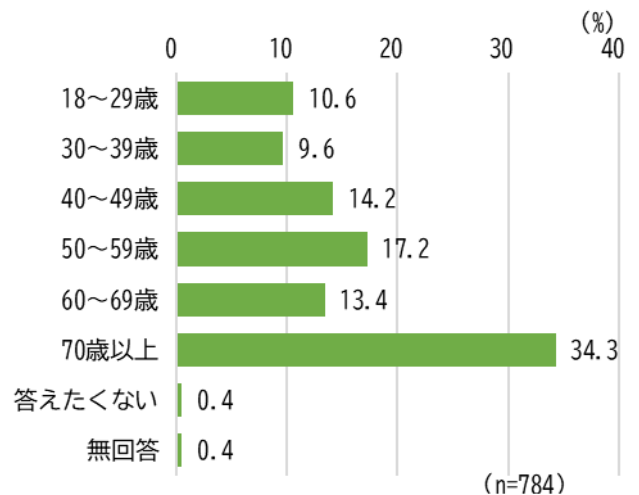
年齢（問2）

	度数(人)	割合 (%)
18～24歳	53	6.8
25～29歳	30	3.8
30～34歳	37	4.7
35～39歳	38	4.8
40～44歳	48	6.1
45～49歳	63	8.0
50～54歳	62	7.9
55～59歳	73	9.3
60～64歳	57	7.3
65～69歳	48	6.1
70～74歳	85	10.8
75歳以上	184	23.5
答えたくない	3	0.4
無回答	3	0.4
合計	784	100.0



（再掲）10歳毎

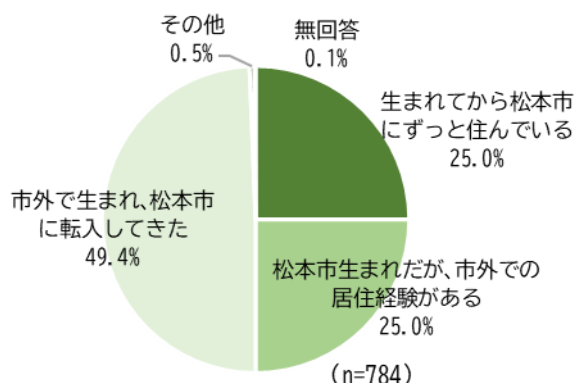
	回収数	回収率(%)
18～29歳	83	36.7
30～39歳	75	38.7
40～49歳	111	47.0
50～59歳	135	52.3
60～69歳	105	54.4
70歳以上	269	68.4
年齢未記入	6	
合計	784	52.3



- 居住経験では、「市外で生まれ、松本市に転入してきた」が、49.4%となっています。
- 現在の居宅の形態では、「持ち家の一戸建て」が、72.3%となっています。
- 世帯構成では、「ひとり暮らし」と「夫婦のみ」で、37.5%となっています。

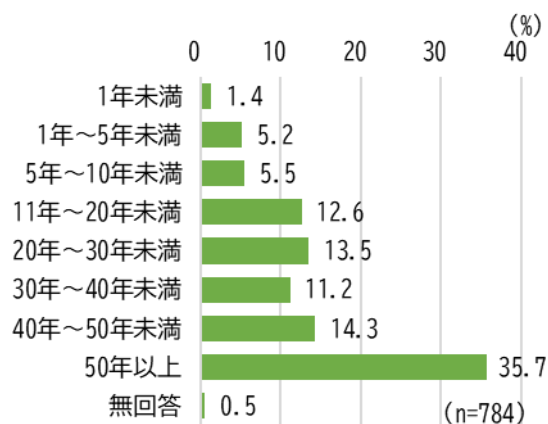
松本市の居住経験（問4）

	度数(人)	割合(%)
生まれてから松本市にずっと住んでいる	196	25.0%
松本市生まれだが、市外での居住経験がある	196	25.0%
市外で生まれ、松本市に転入してきた	387	49.4%
その他	4	0.5%
無回答	1	0.1%
合計	784	100.0%



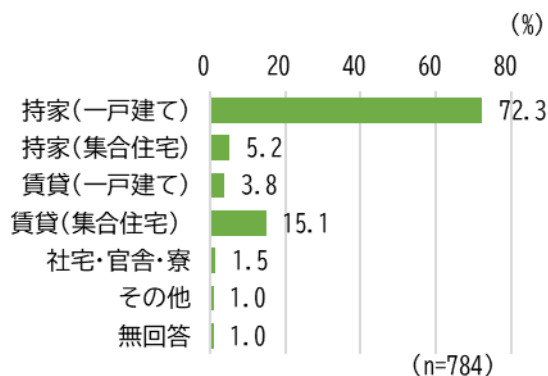
松本市の通算居住年数（問5）

	度数(人)	割合(%)
1年未満	11	1.4
1年～5年未満	41	5.2
5年～10年未満	43	5.5
11年～20年未満	99	12.6
20年～30年未満	106	13.5
30年～40年未満	88	11.2
40年～50年未満	112	14.3
50年以上	280	35.7
無回答	4	0.5
合計	784	100.0



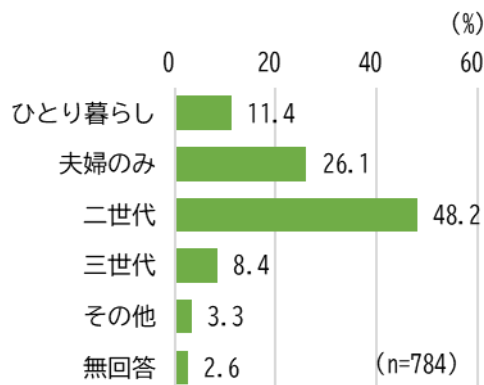
現在の居宅の形態（問6）

	度数(人)	割合(%)
持家(一戸建て)	567	72.3
持家(集合住宅)	41	5.2
賃貸(一戸建て)	30	3.8
賃貸(集合住宅)	118	15.1
社宅・官舎・寮	12	1.5
その他	8	1.0
無回答	8	1.0
合計	784	100.0



世帯構成（問7）

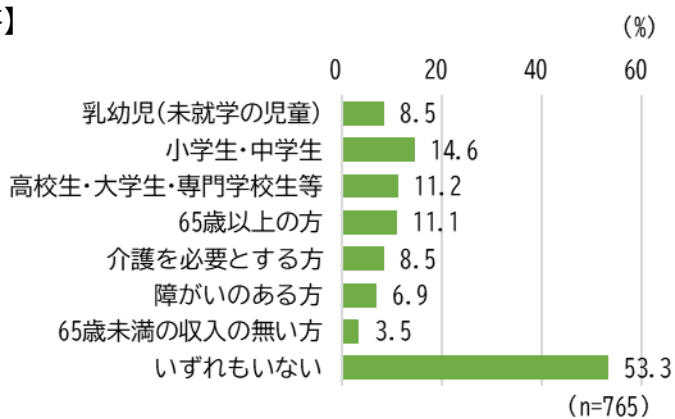
	度数(人)	割合(%)
ひとり暮らし	89	11.4
夫婦のみ	205	26.1
二世帯	378	48.2
三世帯	66	8.4
その他	26	3.3
無回答	20	2.6
合計	784	100.0



- 同居者について「お世話や支援を要する同居者がいない」は、53.3%となっています。
- 就業状況では、「正規の職員」が 31.3%で最も多く、次いで「無職」が 22.7%になっています。
- 町会への加入状況については、「加入・役員等の経験がある」が 60.6%となっています。

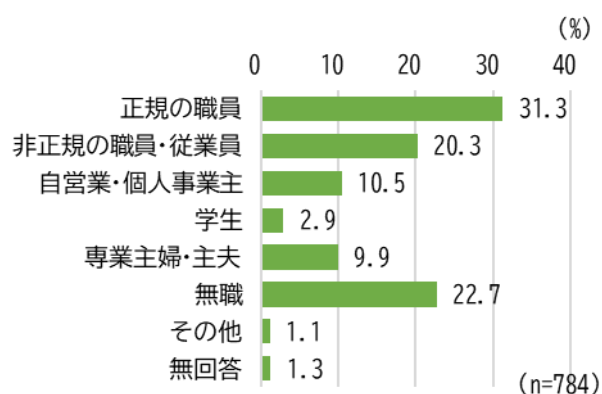
お世話や支援を要する同居者（問 8）【複数回答】

	度数(人)	割合(%)
乳幼児(未就学の児童)	65	8.5
小学生・中学生	112	14.6
高校生・大学生・専門学校生等	86	11.2
65歳以上の方	85	11.1
介護を必要とする方	65	8.5
障がいのある方	53	6.9
65歳未満の収入の無い方	27	3.5
いずれもない	408	53.3
回答者数	765	



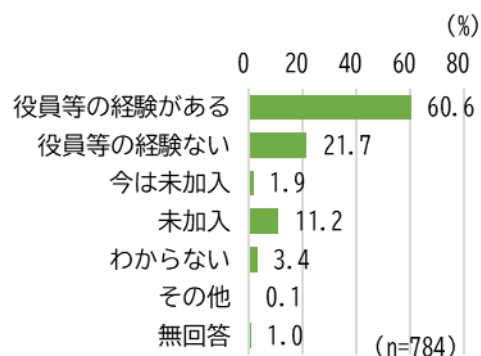
就業状況（問 9）

	度数(人)	割合(%)
正規の職員	245	31.3
非正規の職員・従業員	159	20.3
自営業・個人事業主	82	10.5
学生	23	2.9
専業主婦・主夫	78	9.9
無職	178	22.7
その他	9	1.1
無回答	10	1.3
合計	784	100.0



町会役員経験及び町会への加入状況（問 10）

	度数(人)	割合(%)
役員等の経験がある	475	60.6
役員等の経験ない	170	21.7
今は未加入	15	1.9
未加入	88	11.2
わからない	27	3.4
その他	1	0.1
無回答	8	1.0
合計	784	100.0

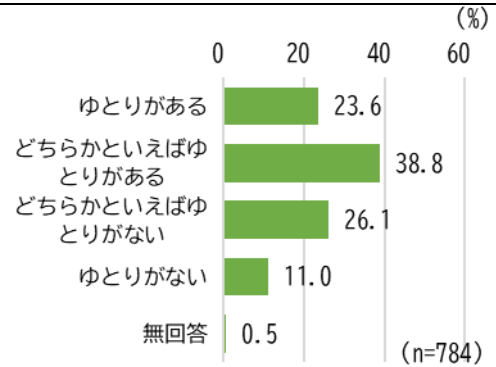


2. 暮らしの状況

(1) 時間的なゆとりの有無 (問 11)

「ゆとりがある」(23.6%)、「どちらかといえばゆとりがある」(38.8%)を合計すると、62.4%になっています。

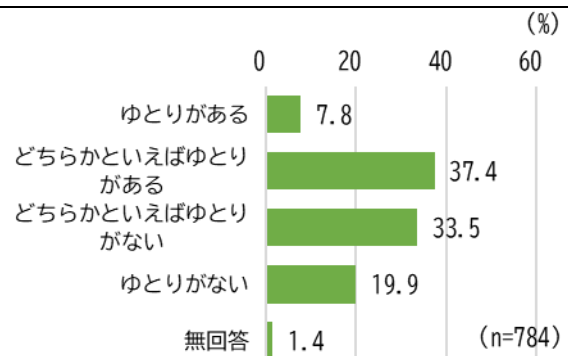
	度数(人)	割合 (%)
ゆとりがある	185	23.6
どちらかといえばゆとりがある	304	38.8
どちらかといえばゆとりがない	205	26.1
ゆとりがない	86	11.0
無回答	4	0.5
合計	784	100.0



(2) 経済的なゆとりの有無 (問 12)

「ゆとりがある」(7.8%)、「どちらかといえばゆとりがある」(37.4%)を合計すると、45.2%になっています。

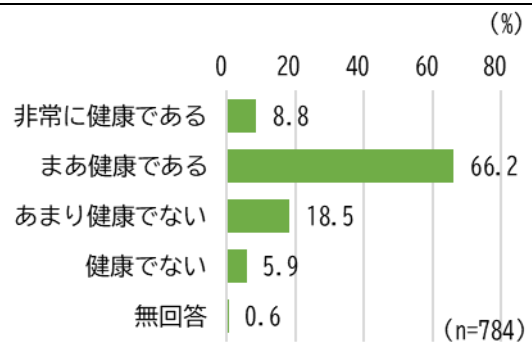
	度数(人)	割合 (%)
ゆとりがある	61	7.8
どちらかといえばゆとりがある	293	37.4
どちらかといえばゆとりがない	263	33.5
ゆとりがない	156	19.9
無回答	11	1.4
合計	784	100.0



(3) 心身の健康状態についての自己評価 (問 13)

「健康である」(8.8%)、「まあ健康である」(66.2%)を合計すると、75.0%になっています。

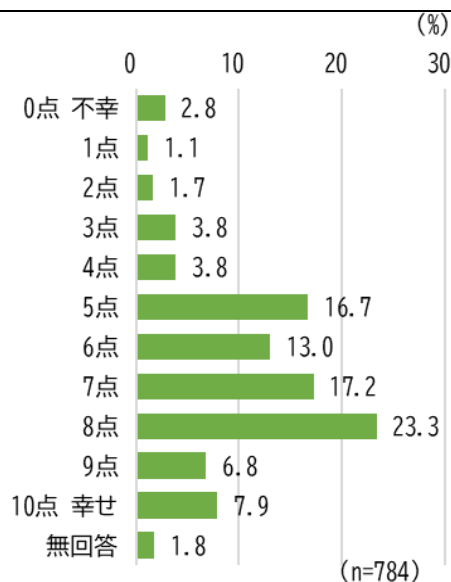
	度数(人)	割合 (%)
非常に健康である	69	8.8
まあ健康である	519	66.2
あまり健康でない	145	18.5
健康でない	46	5.9
無回答	5	0.6
合計	784	100.0



(4) 自身の幸福度についての自己評価 (問 14)

「自身の幸福度についての自己評価」については平均得点が、6.5 点であり、平均得点より 1.5 点高い 8 点以上の回答は 38.0%で、1.5 点低い 5 点以下の回答は 29.9%になっています。

	度数(人)	割合 (%)
0点 不幸	22	2.8
1点	9	1.1
2点	13	1.7
3点	30	3.8
4点	30	3.8
5点	131	16.7
6点	102	13.0
7点	135	17.2
8点	183	23.3
9点	53	6.8
10点 幸せ	62	7.9
無回答	14	1.8
合計	784	100.0

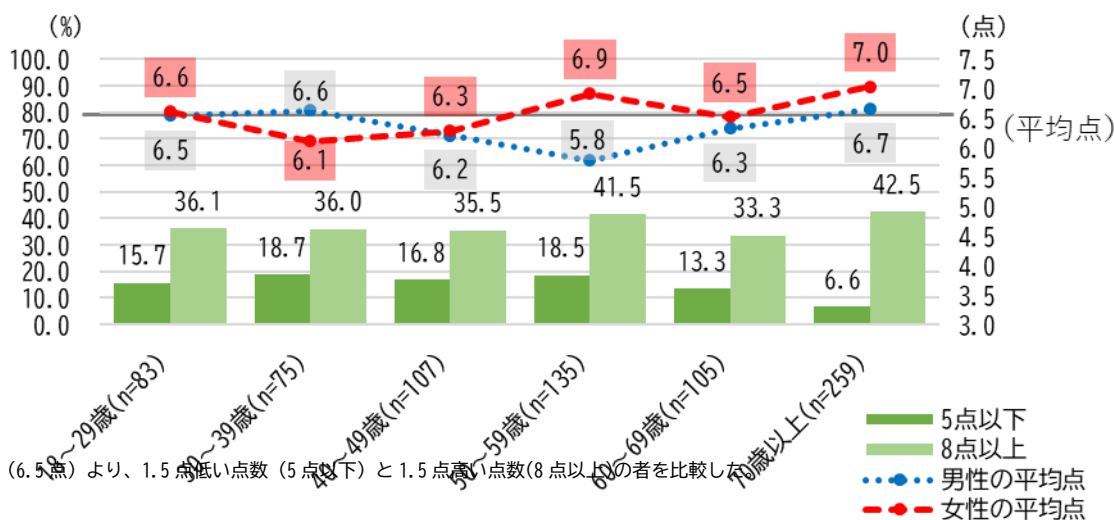


年齢別と性別の幸福度の自己評価 (問 14×問 1「性別」×問 2「年齢」)

幸福度の自己評価の平均点は 6.5 点で、全国の平均点 6.5 (令和 6 年デジタル庁調査結果) と同じ水準になっています。

性別、年代別平均点を見ると、最も得点が高いのは、「男性」と「女性」とともに「70 歳以上」で、「男性」は 6.7 点、「女性」は 7.0 点となっています。一方最も低いのは、「男性」は「50～59 歳」で 5.8 点となっており最も自己評価が低い結果となっています。「女性」は「30～39 歳」で 6.1 点となっています。

また、8 点以上の回答が最も多いのは「70 歳以上」で 42.5%、5 点以下が最も多いのは「30～39 歳」で 18.7%になっています。一方、8 点以上の回答が最も少なかったのは、「60～69 歳」で 33.3%、5 点以下が最も少なかったのは「70 歳以上」で 6.6%となっています。



※ 平均点 (6.5点) より、1.5点低い点数 (5点以下) と 1.5点高い点数 (8点以上) の者を比較した

3. 人とのつながりの状況

(1) 同居していない家族や友人等とのコミュニケーションの手段と頻度（問 15）

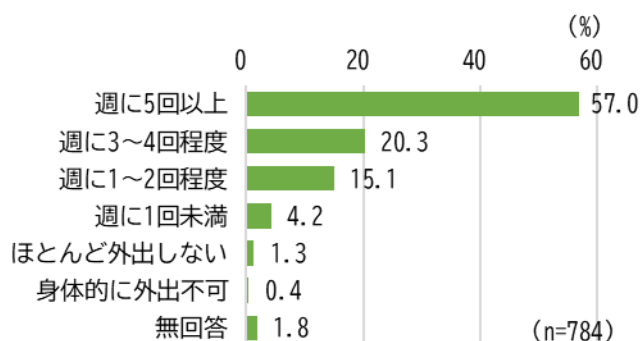
最も回答数が多いのは、全くないと無回答を除いて、「郵便や FAX」の 27.3%となっています。日常的なコミュニケーション手段として用いられている「会話」「電話」「SNS」で比較すると利用されている割合が最も高いのは、「週 4～5 回以上」の「SNS」で 24.2%になっています。「会話する」では「年数回程度」が 18.3%と最も高く、「電話」も「年数回程度」が 21.2%と最も高くなっています。

	週4～5回以上	週2～3回程度	週1回程度	月2～3回程度	月1回程度	年数回程度	全くない	合計
会話する(N=733)	18.1	13.8	14.1	14.5	16.4	18.3	4.9	100.0
電話(N=684)	6.7	11.7	14.6	15.4	19.6	21.2	10.8	100.0
郵便やFAX(N=634)	0.5	1.3	0.9	2.8	4.4	27.3	62.8	100.0
SNS(N=670)	24.2	15.8	11.8	12.1	10.4	11.5	14.2	100.0
その他(N=328)	0.6	0.6	1.8	0.9	1.8	3.4	90.9	100.0

(2) 外出する頻度（問 16）

「週に 1 回未満（4.2%）」と「ほとんど外出しない（1.3%）」を合わせた「外出頻度が少ない層」の割合は 5.5%になっています。

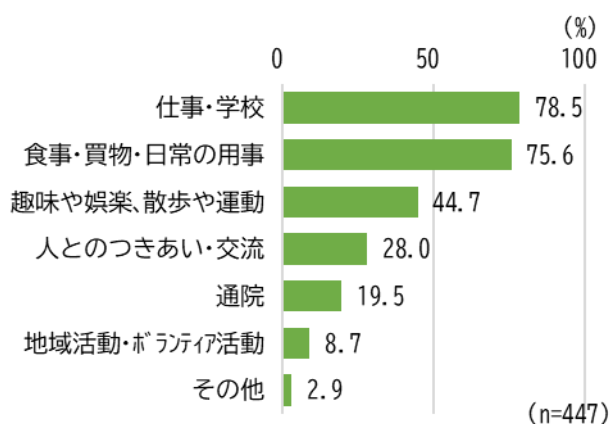
	度数(人)	割合 (%)
週に5回以上	447	57.0
週に3～4回程度	159	20.3
週に1～2回程度	118	15.1
週に1回未満	33	4.2
ほとんど外出しない	10	1.3
身体的に外出不可	3	0.4
無回答	14	1.8
合計	784	100.0



(3) 外出する頻度で週 5 回以上する者の外出目的の状況（問 16-①）【複数回答】

「仕事・学校」が 78.5%と最も多くなっており、次いで「食事・買物・日常の用事」が 75.6%となっています。

	度数(人)	割合 (%)
仕事・学校	351	78.5
食事・買物・日常の用事	338	75.6
趣味や娯楽、散歩や運動	200	44.7
人とのつきあい・交流	125	28.0
通院	87	19.5
地域活動・ボランティア活動	39	8.7
その他	13	2.9
回答者数	447	



(4) 性別、年代別の外出する頻度 (問 16×問 1「性別」×問 2「年齢」)

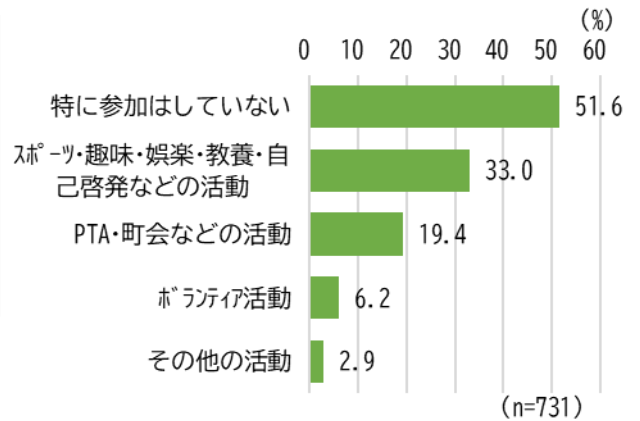
「男性」の「週に1回未満」と「ほとんど外出しない」の合計割合は7.7%で、年代別では「40～49歳」が10.3%、次いで「60～69歳」が8.2%となっています。
 「女性」の「週に1回未満」と「ほとんど外出しない」の合計割合は3.4%で、年代別では「60～69歳」が7.4%、次いで「50～59歳」が4.1%となっています。

		週に5回以上	週に3～4回程度	週に1～2回程度	週に1回未満	ほとんど外出しない	身体的に外出不可	合計	外出頻度の少ない者
男性	18～29歳(n=82)	55.6	19.4	19.4	2.8	2.8	0.0	100.0	5.6
	30～39歳(n=74)	73.3	0.0	20.0	3.3	3.3	0.0	100.0	6.7
	40～49歳(n=108)	61.5	15.4	12.8	7.7	2.6	0.0	100.0	10.3
	50～59歳(n=135)	65.6	8.2	19.7	4.9	1.6	0.0	100.0	6.6
	60～69歳(n=103)	63.3	14.3	14.3	4.1	4.1	0.0	100.0	8.2
	70歳以上(n=259)	38.7	37.1	15.3	7.3	0.8	0.8	100.0	8.1
	男性全体(n=339)	54.6	20.9	16.5	5.6	2.1	0.3	100.0	7.7
女性	18～29歳(n=44)	72.7	6.8	20.5	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	30～39歳(n=44)	77.3	13.6	6.8	2.3	0.0	0.0	100.0	2.3
	40～49歳(n=68)	88.2	4.4	4.4	2.9	0.0	0.0	100.0	2.9
	50～59歳(n=73)	75.3	12.3	8.2	2.7	1.4	0.0	100.0	4.1
	60～69歳(n=54)	61.1	18.5	13.0	5.6	1.9	0.0	100.0	7.4
	70歳以上(n=134)	29.9	40.3	25.4	3.0	0.0	1.5	100.0	3.0
	女性全体(n=417)	60.9	20.4	14.9	2.9	0.5	0.5	100.0	3.4

(5) 他者と交流する活動への参加状況 (問 17)【複数回答】

「特に参加はしていない」が51.6%と最も高くなっています。

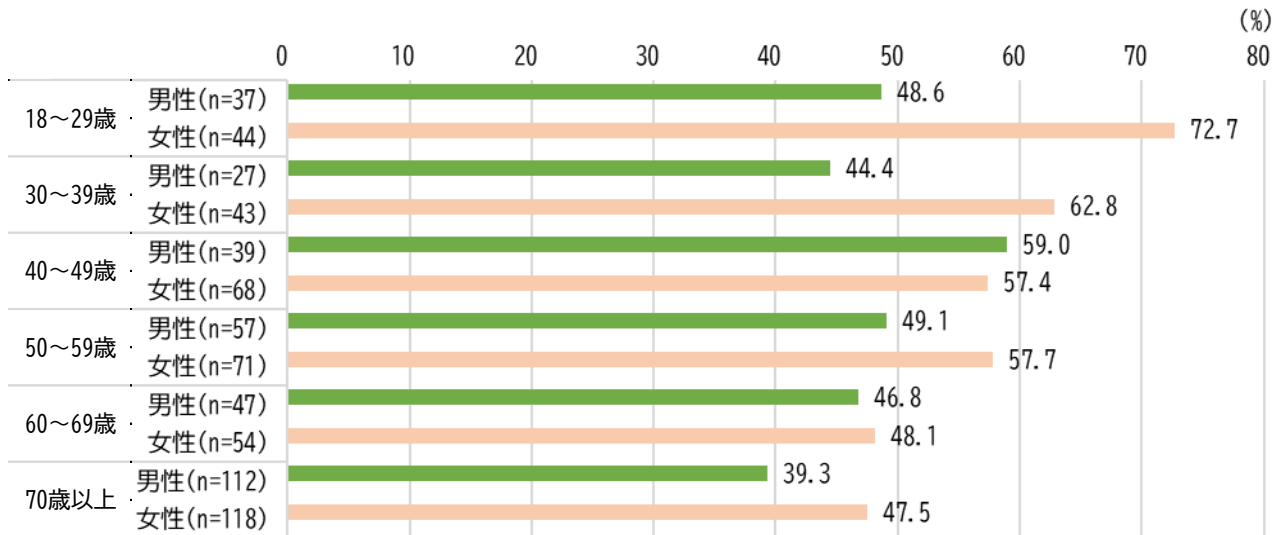
	度数(人)	割合(%)
特に参加はしていない	377	51.6
スポーツ・趣味・娯楽・教養・自己啓発などの活動	241	33.0
PTA・町会などの活動	142	19.4
ボランティア活動	45	6.2
その他の活動	21	2.9
回答者数	731	



(6) 他者と交流する活動へ「特に参加していない」方の「性別」と「年齢」別の参加状況

(問17×問1「性別」×問2「年齢」)

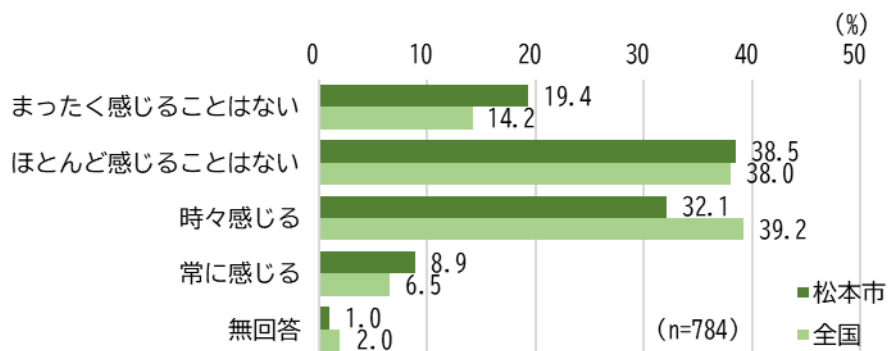
「特に参加していない」の方で、最も多いのは「18～29歳」の「女性」で72.7%になっており、次いで「30～39歳」の「女性」で62.8%になっています。



(7) 自分は人つきあいがないと感じるかについての評価と全国調査(内閣府R6)の比較(問18)

「ほとんど感じることはない」が38.5%と最も高くなっています。次いで「時々感じる」が32.1%となっています。また、「常に感じる」は8.9%となっています。全国調査では、「時々感じる」が39.2%と最も高くなっています。次いで「ほとんど感じることはない」が38.0%となっています。また「常に感じる」は6.5%となっています。

	度数(人)	松本市 (%)	全国 (%)
まったく感じることはない	152	19.4	14.2
ほとんど感じることはない	302	38.5	38.0
時々感じる	252	32.1	39.2
常に感じる	70	8.9	6.5
無回答	8	1.0	2.0
合計	784	100.0	100.0



(8) 「自分は人つきあいがないと感じるか」についての年齢別評価 (問 18×問 2「年齢」)

「ほとんど感じることはない」で最も多いのは「70歳以上」が47.4%となっています。次いで「40～49歳」が38.0%となっています。また、「常に感じる」で最も多いのは「50～59歳」で14.1%となっています。

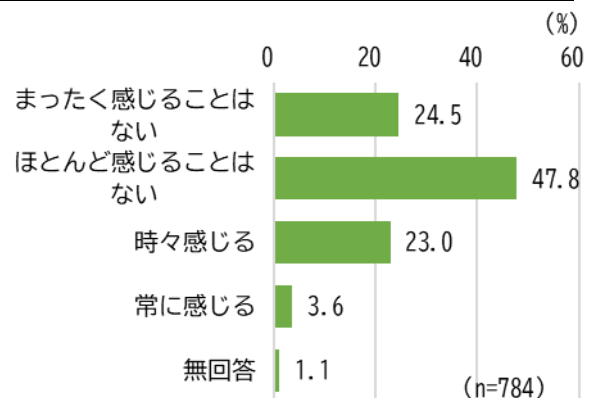
(%)

	まったく感じることはない	ほとんど感じることはない	時々感じる	常に感じる	合計
18～29歳(n=83)	22.9	33.7	37.3	6.0	100.0
30～39歳(n=74)	20.3	32.4	35.1	12.2	100.0
40～49歳(n=108)	15.7	38.0	37.0	9.3	100.0
50～59歳(n=135)	17.8	34.1	34.1	14.1	100.0
60～69歳(n=104)	15.4	35.6	36.5	12.5	100.0
70歳以上(n=266)	21.8	47.4	25.9	4.9	100.0
全体(n=770)	19.4	39.2	32.5	9.0	100.0

(9) 自分は他の人から孤立していると感じるかについての評価 (問 19)

「ほとんど感じることはない」が47.8%と最も高くなっています。次いで「まったく感じることはない」が24.5%となっています。また、「常に感じる」は3.6%となっています。

	度数(人)	割合 (%)
まったく感じることはない	192	24.5
ほとんど感じることはない	375	47.8
時々感じる	180	23.0
常に感じる	28	3.6
無回答	9	1.1
合計	784	100.0



(10) 「自分は他の人から孤立していると感じるか」についての性別評価 (問 19×問 1「性別」)

「ほとんど感じることはない」の「女性」が50.0%と最も高くなっています。次いで「ほとんど感じることはない」の「男性」が46.4%となっています。また、「常に感じる」の「女性」は4.3%となっています。

(%)

	まったく感じることはない	ほとんど感じることはない	時々感じる	常に感じる	合計
男性(n=344)	26.8	46.4	23.9	2.9	100.0
女性(n=429)	23.5	50.0	22.3	4.3	100.0

(11) 「自分は他の人から孤立していると感じるか」についての年齢別評価

(問 19×問 2「年齢」)

「ほとんど感じることはない」で最も高くなっているのは「70歳以上」で54.9%となっています。次いで「30～39歳」が50.0%となっています。また、「常を感じる」で最も多いのは「30～39歳」で6.8%となっています。

(%)

	まったく感じることはない	ほとんど感じることはない	時々感じる	常を感じる	合計
18～29歳(n=82)	26.8	41.5	28.0	3.7	100.0
30～39歳(n=74)	27.0	50.0	16.2	6.8	100.0
40～49歳(n=108)	20.4	45.4	28.7	5.6	100.0
50～59歳(n=135)	23.7	45.9	27.4	3.0	100.0
60～69歳(n=104)	21.2	44.2	29.8	4.8	100.0
70歳以上(n=266)	27.1	54.9	16.5	1.5	100.0
全体(n=770)	24.7	48.6	23.1	3.5	100.0

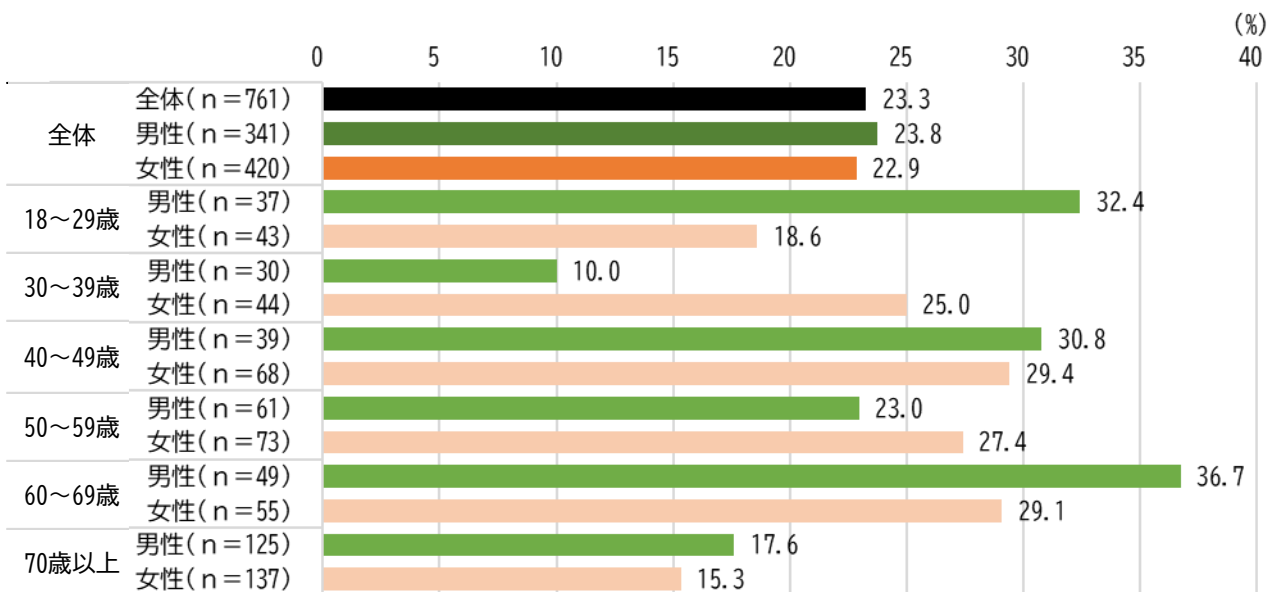
(12) 人つきあいがないと感じるかと、孤立していると感じるかの両方で「時々感じる」か「常を感じる」を選択した者の性別と年齢の割合

(問 18「自分は人つきあいがないと感じるか」×問 19「孤立していると感じるか」×問 1「性別」×問 2「年齢」)

全体では、23.3%となっています。

「男性」では「60～69歳」が36.7%で最も多く、次いで「18～29歳」が、32.4%となっています。一方、最も低いのは、「30～39歳」で10.0%となっています。

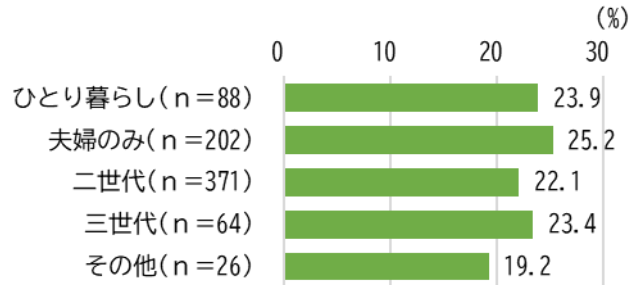
「女性」では「40～49歳」が、29.4%と最も高くなっており、次いで「60～69歳」が29.1%となっています。最も低いのは、「70歳以上」で15.3%となっています。



(13) 人つきあいが無いと感じるか、孤立していると感じるかの両方で「時々感じる」か「常に感じる」を選択した者の世帯の割合 (問 18「自分は人つきあいが無いと感じるか」×問 19「孤立していると感じるか」×問 7「世帯」)

「夫婦のみ」は 25.2%と最も高くなっており、次いで「ひとり暮らし」が 23.9%になっています。

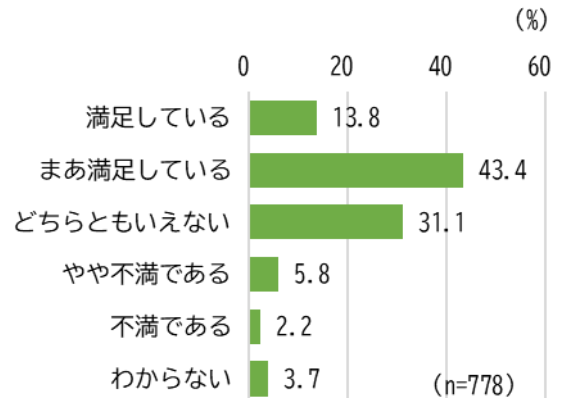
	度数(人)	割合(%)
ひとり暮らし(n=88)	21	23.9
夫婦のみ(n=202)	51	25.2
二世帯(n=371)	82	22.1
三世帯(n=64)	15	23.4
その他(n=26)	5	19.2
合計	174	23.2



(14) 社会や他者との関わり方に満足しているかの評価 (問 20)

「まあ満足している」は 43.4%と最も高くなっており、次いで「どちらともいえない」が 31.1% になっています。

	度数(人)	割合 (%)
満足している	107	13.8
まあ満足している	338	43.4
どちらともいえない	242	31.1
やや不満である	45	5.8
不満である	17	2.2
わからない	29	3.7
合計	778	100.0

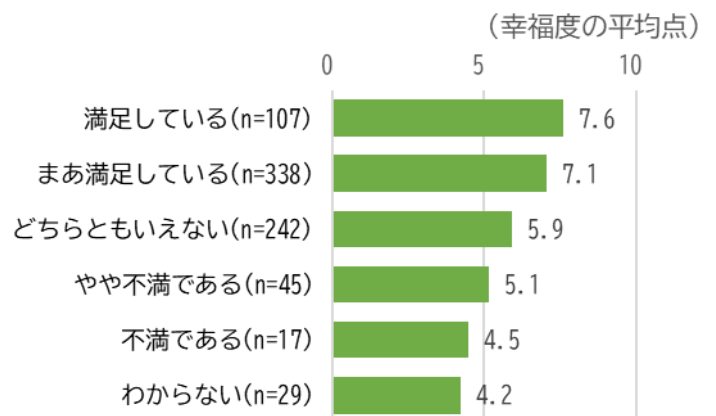


(15) 満足度別の幸福度の自己評価の平均点

(問 20×問 14「自身の幸福度についての自己評価」)

社会との関わりに満足度が高い方は、幸福度に関する評価も高い結果となっており、回答した方の幸福度の平均点は、「満足している」は 7.6 点、次いで「まあ満足している」は 7.1 点となっています。一方「不満である」は、4.5 点となっています。

	幸福度平均点
満足している(n=107)	7.6
まあ満足している(n=338)	7.1
どちらともいえない(n=242)	5.9
やや不満である(n=45)	5.1
不満である(n=17)	4.5
わからない(n=29)	4.2



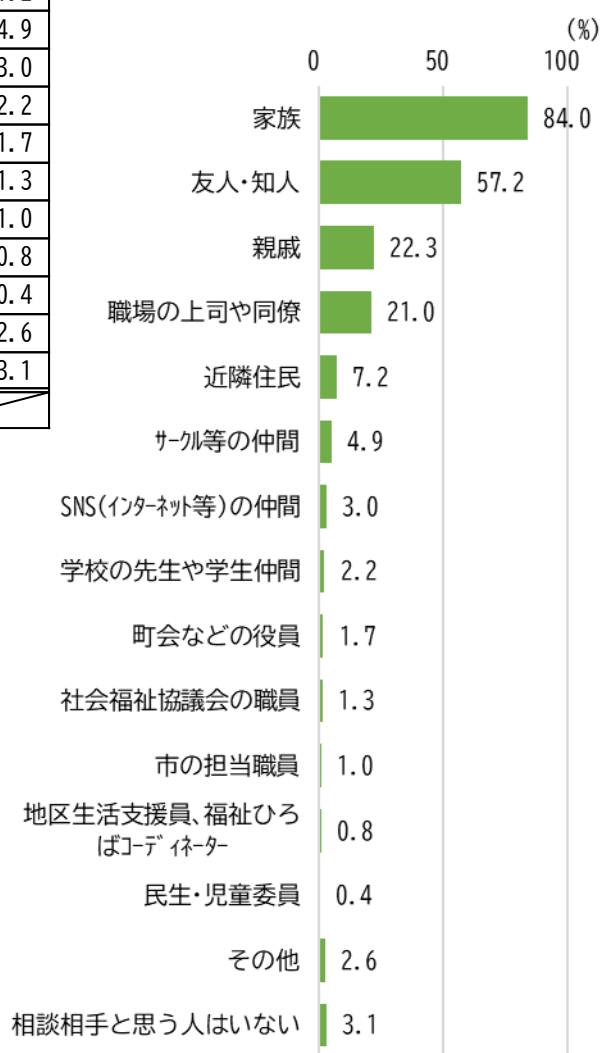
4. 相談や受援力について

(1) 相談相手と思える人について (問 21) 【複数回答】

「家族」が 84.0%と最も高くなっています。次いで「友人・知人」が 57.2%となっています。一方「相談相手と思う人はいない」は 3.1%*となっています。

*参考：(内閣府 R7 全国調査結果「不安や悩みの相談相手がない」 8.7%)

	度数 (人)	割合 (%)
家族	652	84.0
友人・知人	444	57.2
親戚	173	22.3
職場の上司や同僚	163	21.0
近隣住民	56	7.2
サークル等の仲間	38	4.9
SNS(インターネット等)の仲間	23	3.0
学校の先生や学生仲間	17	2.2
町会などの役員	13	1.7
社会福祉協議会の職員	10	1.3
市の担当職員	8	1.0
地区生活支援員、福祉ひろばコーディネーター	6	0.8
民生・児童委員	3	0.4
その他	20	2.6
相談相手と思う人はいない	24	3.1
回答者数	776	



(n=776)

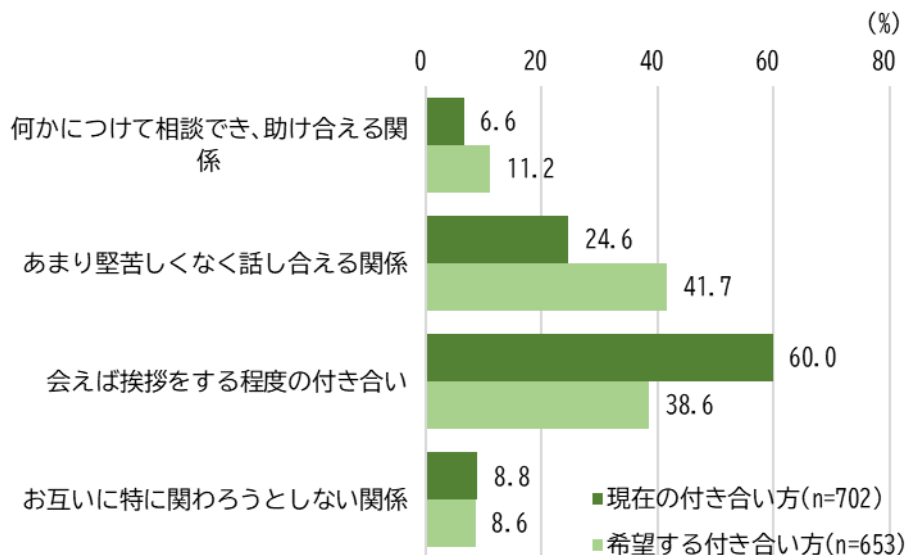
(2) 近所との付き合い方についての考え (問 22)

「現在の付き合い方」で最も多いのは「会えば挨拶をする程度の付き合い」が 60.0%、次いで「あまり堅苦しくなく話し合える関係」が 24.6%となっています。

「希望する付き合い方」で最も多いのは「あまり堅苦しくなく話し合える関係」で 41.7%となっています。次いで「会えば挨拶をする程度の付き合い」が 38.6%となっています。

「現在の付き合い方」に対する「希望する付き合い方」の割合の増減を見ると、最も増加したのが「あまり堅苦しくなく話し合える関係」が 17.1%の増となっています。一方、最も減少したのは「会えば挨拶をする程度の付き合い」で、21.4%の減となっています。

	現在の付き合い方		希望する付き合い方		増減 割合 (%)
	度数(人)	割合 (%)	度数(人)	割合 (%)	
何かにつけて相談でき、助け合える関係	46	6.6	73	11.2	4.6
あまり堅苦しくなく話し合える関係	173	24.6	272	41.7	17.1
会えば挨拶をする程度の付き合い	421	60.0	252	38.6	-21.4
お互いに特に関わろうとしない関係	62	8.8	56	8.6	-0.3
合計	702	100.0	653	100.0	



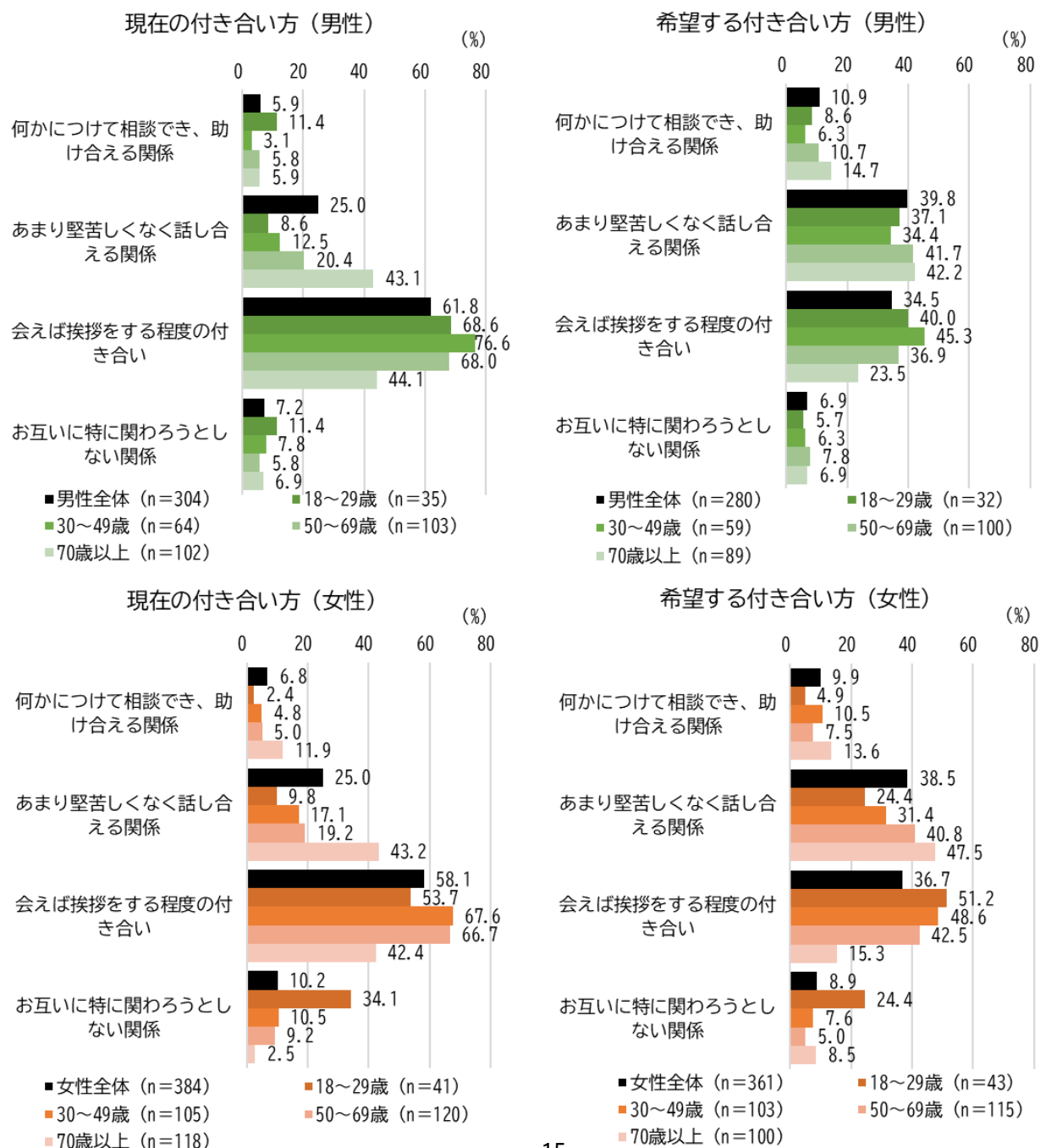
(3) 近所との付き合い方についての考え年齢別（問22×問2「年齢」）

「現在の付き合い方」に対する「希望する付き合い方」の割合の増減において、「男性」で最も大きく増加したのが、「18～29歳」における「あまり堅苦しくなく話し合える関係」で28.6%増加しています。

一方最も大きく減少したのが、「30～49歳」における「会えば挨拶する程度の付き合い」で31.3%減少しています。

「女性」で最も大きく増加したのが、「50～69歳」における「あまり堅苦しくなく話し合える関係」で21.7%増加しています。最も大きく減少したのが、「70歳以上」における「会えば挨拶する程度の付き合い」で27.1%減少しています。

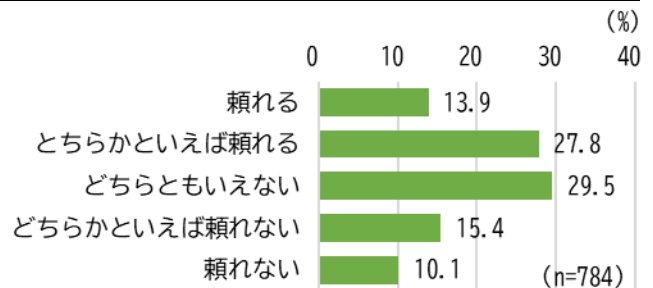
また、「お互いに関わろうとしない関係」では、「18～29歳」の「現在の付き合い方」が34.1%で「希望する付き合い方」でも24.4%と他の層と比べて最も高くなっています。



(4) 自分では解決困難な困りごとを抱えた時に家族以外の人に頼ることができるか (問 23)

「頼れない」10.1%と「どちらかといえば頼れない」15.4%を加えると25.5%が家族以外に頼れないことになっています。

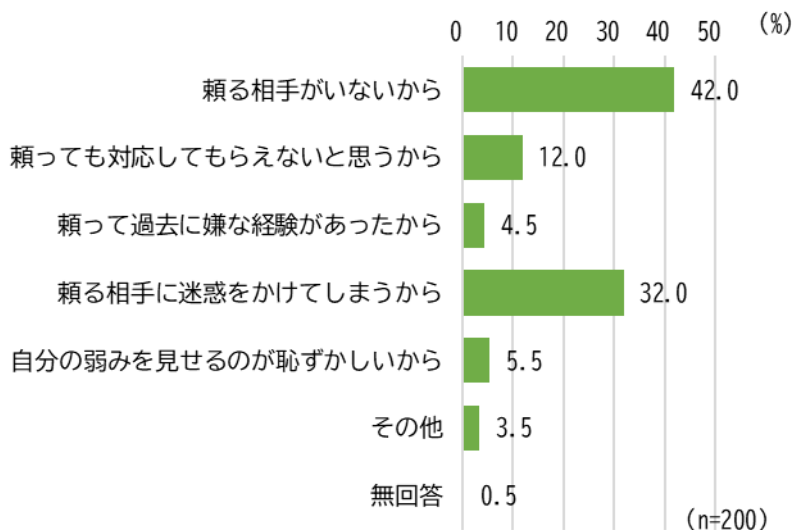
	度数(人)	割合 (%)
頼れる	109	13.9
どちらかといえば頼れる	218	27.8
どちらともいえない	231	29.5
どちらかといえば頼れない	121	15.4
頼れない	79	10.1
合計	784	100.0



(5) (4) で「どちらかといえば頼れない」・「頼れない」と回答した方の家族以外に頼れないと感じた理由 (問 23-①)

「頼る相手がないから」が42.0%と最も多く、次いで「頼る相手に迷惑をかけてしまうから」が32.0%となっています。

	度数(人)	割合 (%)
頼る相手がないから	84	42.0
頼っても対応してもらえないと思うから	24	12.0
頼って過去に嫌な経験があったから	9	4.5
頼る相手に迷惑をかけてしまうから	64	32.0
自分の弱みを見せるのが恥ずかしいから	11	5.5
その他	7	3.5
無回答	1	0.5
合計	200	100.0



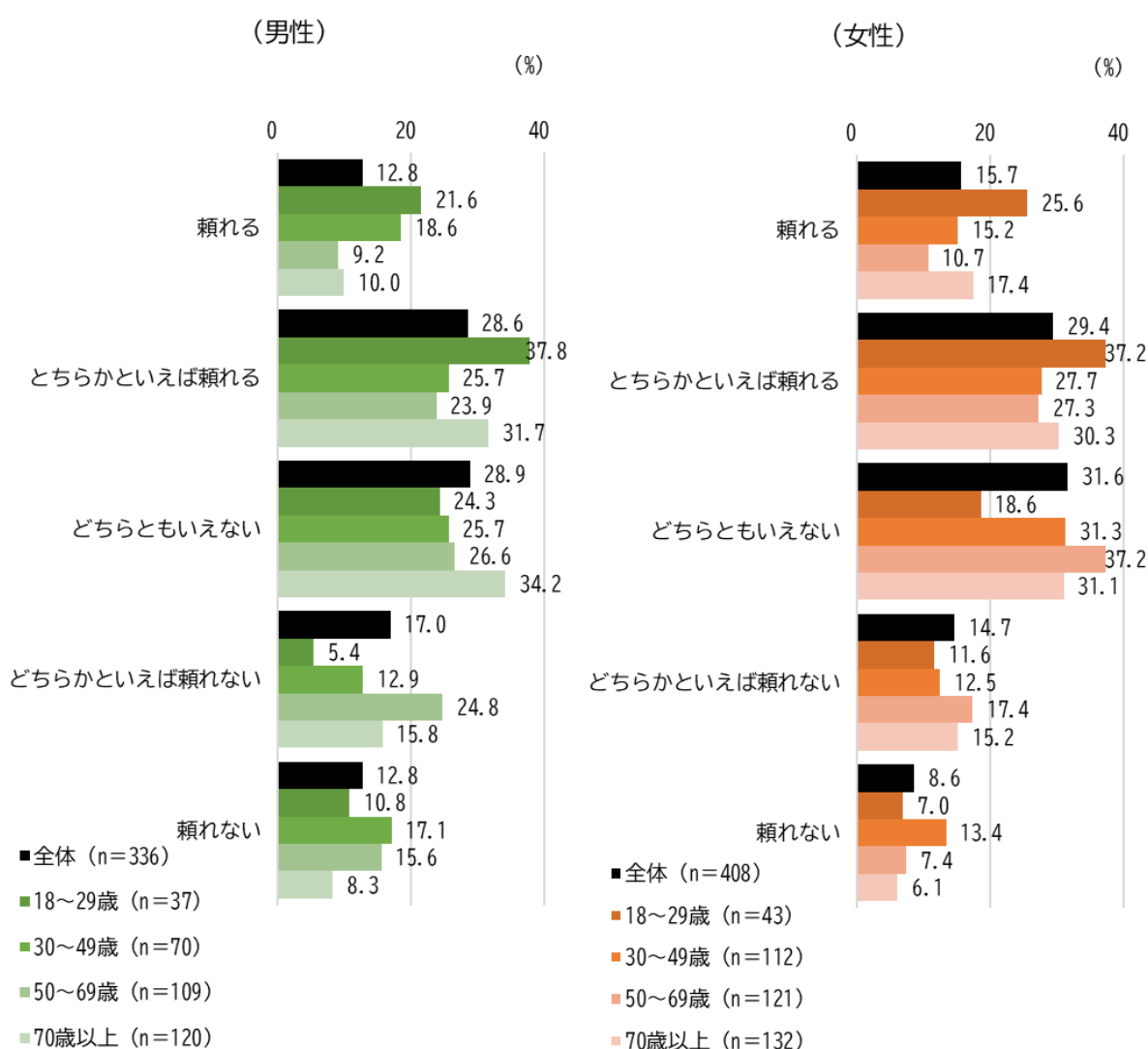
(6) 自分では解決困難な困りごとを抱えた時に家族以外の人に頼ることができるかについて
性別と年齢の割合 (問23×問1「性別」×問2「年齢」)

「男性」では「どちらかといえば頼れる」の「18～29歳」が37.8%と最も多く、次いで「どちらともいえない」の「70歳以上」が34.2%となっています。

「女性」では「どちらかといえば頼れる」の「18～29歳」と、「どちらともいえない」の「50～59歳」が37.2%で最も多く、次いで「どちらともいえない」の「30～49歳」が31.3%となっています。

「頼れない」については、「男性」では「30～49歳」の17.1%が最も多く、「女性」でも、「30～49歳」の13.4%が最も高くなっています。全体では「男性」が12.8%、「女性」が8.6%となっています。

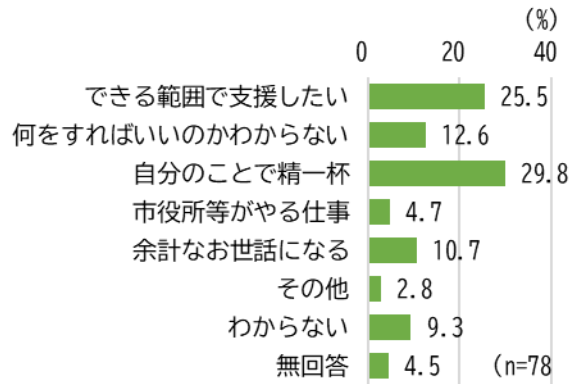
*参考：(内閣府 R7 全国調査結果「困った時に頼れる人が居ない」7.5%)



(7) 支援を要する近隣住民に対する関わり方（問 24）

「自分のことで精一杯」が 29.8%と最も多く、次いで「できる範囲で支援したい」が 25.5% になっています。一方「市役所等がやる仕事」は 4.7%となっています。

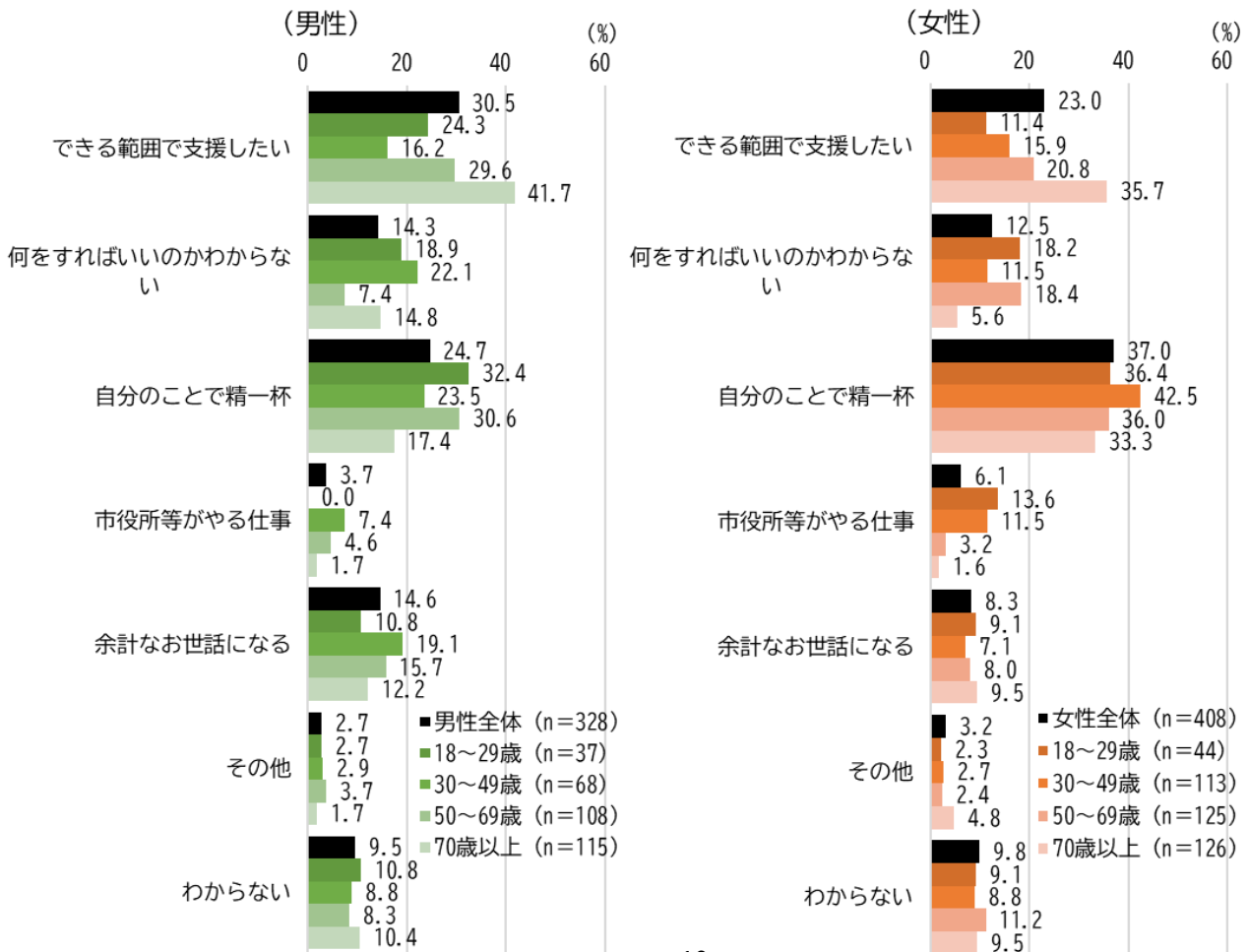
	度数(人)	割合 (%)
できる範囲で支援したい	200	25.5
何をすればいいのかわからない	99	12.6
自分のことで精一杯	234	29.8
市役所等がやる仕事	37	4.7
余計なお世話になる	84	10.7
その他	22	2.8
わからない	73	9.3
無回答	35	4.5
合計	784	100.0



(8) 支援を要する近隣住民に対する関わり方についての考え方について性別と年齢の構成
問 24×問 1「性別」×問 1「年齢」

「男性」では「できる範囲で支援したい」の「70 歳以上」が 41.7%と最も高く、次いで、「自分のことで精一杯」の「18～29 歳」が 32.4%となっています。

「女性」では、「自分のことで精一杯」の「30～49 歳」が 42.5%と最も多く、次いで同項目の「18～29 歳」が 36.4%となっています。



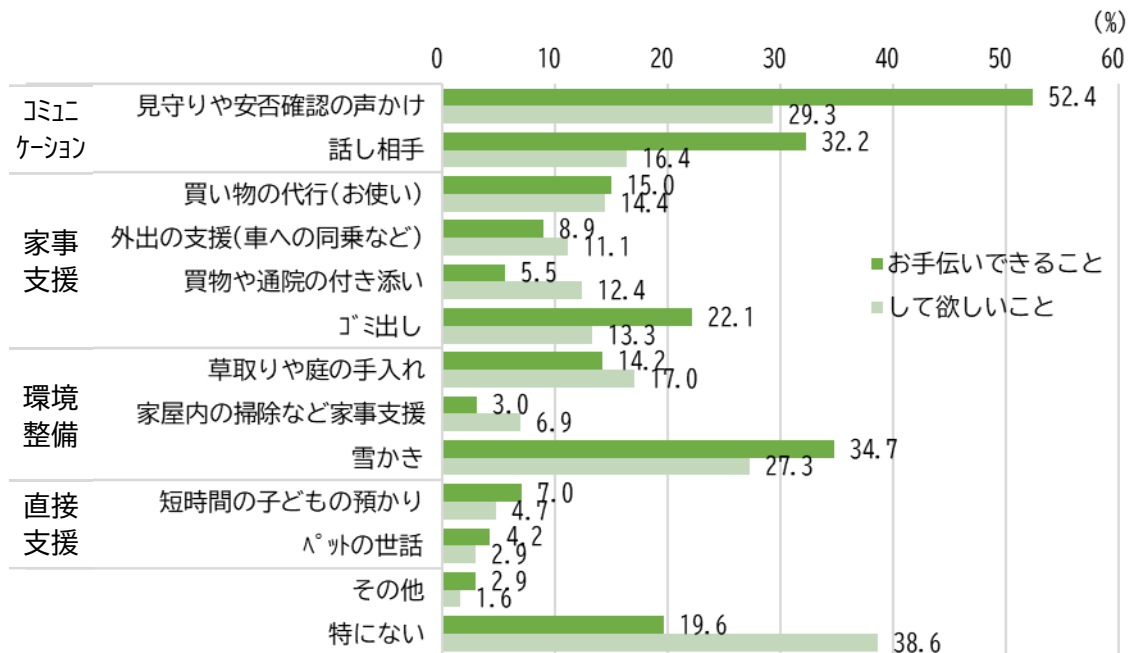
(9) 近隣の方が困難を抱えた時お手伝いできること (問 25) 【複数回答】

自分が困難を抱えた時お手伝いして欲しいこと (問 26) 【複数回答】

【お手伝いできること】
 「見守りや安否確認の声かけ」は 52.4%と最も多く、次いで「雪かき」が 34.7%となっています。

【お手伝いして欲しいこと】
 「特にない」が 38.6%と最も多く、「見守りや安否確認の声かけ」は 29.3%で、「雪かき」は 27.3%となっています。

		お手伝いできること		して欲しいこと	
		度数 (人)	割合 (%)	度数 (人)	割合 (%)
コミュニケーション	見守りや安否確認の声かけ	398	52.4	225	29.3
	話し相手	245	32.2	126	16.4
家事支援	買い物の代行(お使い)	114	15.0	111	14.4
	外出の支援(車への同乗など)	68	8.9	85	11.1
	買物や通院の付き添い	42	5.5	95	12.4
	ゴミ出し	168	22.1	102	13.3
環境整備	草取りや庭の手入れ	108	14.2	131	17.0
	家屋内の掃除など家事支援	23	3.0	53	6.9
	雪かき	264	34.7	210	27.3
直接支援	短時間の子どもの預かり	53	7.0	36	4.7
	ペットの世話	32	4.2	22	2.9
その他		22	2.9	12	1.6
特にない		149	19.6	297	38.6
回答者数		760		769	



5. 地域の様子について

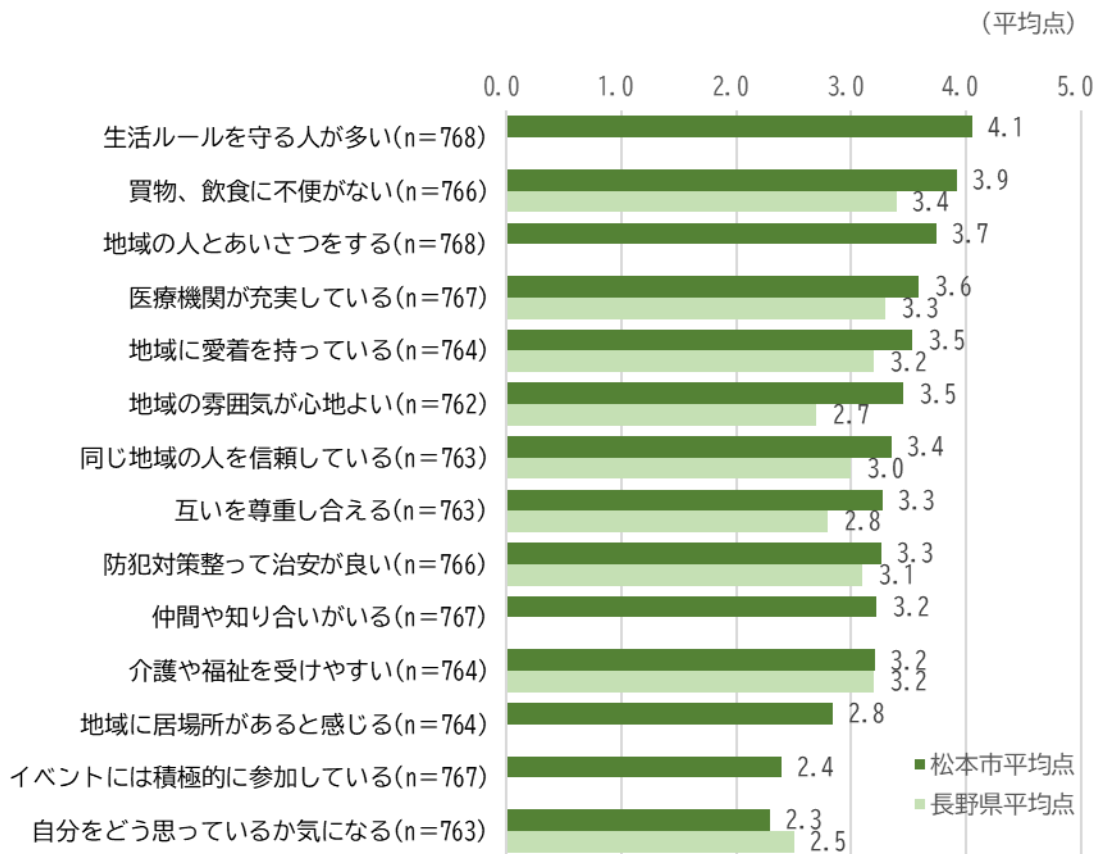
(1) 地域の状況に対する評価（問 27）

回答を得点化したところ、最も高い得点は、「生活ルールを守る人が多い」で 4.1 点、次いで「買物、飲食に不便がない」で 3.9 点となっています。

平均点が低いのは、「自分をどう思っているか気になる」で 2.3 点、次いで「イベントには積極的に参加している」で 2.4 点となっています。

令和 6 年度にデジタル庁が実施した全国調査結果*のうち、長野県の調査結果と比較すると、ほとんどの項目で平均以上の得点になっています。

特に「地域の雰囲気心が心地よい」は県平均より 0.8 点高く、次いで「買物、飲食に不便がない」「互いを尊重し合える」についても 0.5 点高い結果となっています。



*長野県平均点：2024 年度版(令和 6 年度版) Well-Being 全国調査

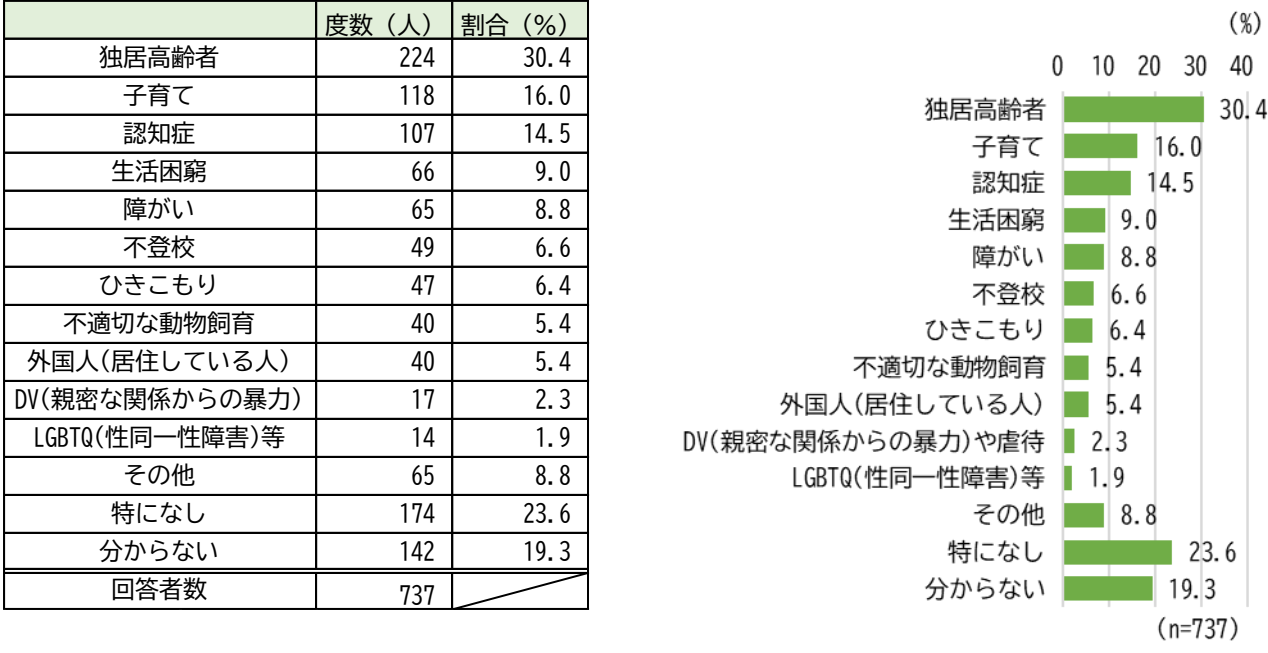
(2) 地域住民が集まるのに、あったら良いと思う機会や場所（問 28）【複数回答】

「特に目的がなくても居られる」は 37.2%と最も多く、次いで「趣味や教養を学ぶ」が 31.0%となっています。また、「特にない」は 18.1%となっています。



(3) 地域において課題だと感じていること（問 29）【複数回答】

「独居高齢者」は 30.4%と最も多く、次いで「子育て」が 16.0%となっています。また、「特になし」は 23.6%、「分からない」は 19.3%となっています。



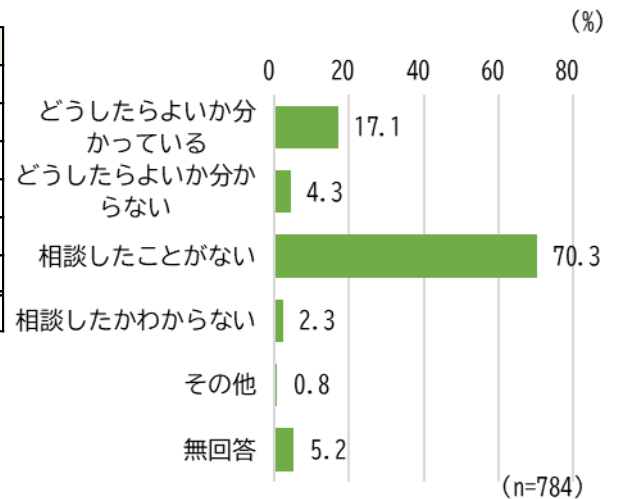
※課題に関する記述内容は資料編を参照

6. 非常時の対応について

(1) 自分が急病になった時に頼れる人の有無について（問 30）

「相談したことがない」は70.3%と最も多く、次いで「どうしたらよいか分かっている」が17.1%となっています。

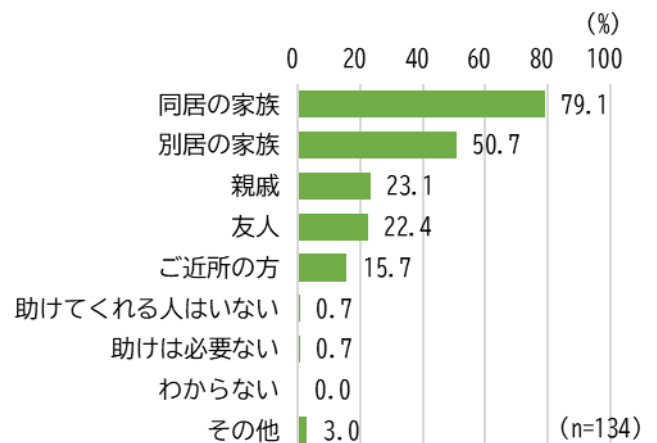
	度数(人)	割合 (%)
どうしたらよいか分かっている	134	17.1
どうしたらよいか分からない	34	4.3
相談したことがない	551	70.3
相談したかわからない	18	2.3
その他	6	0.8
無回答	41	5.2
合計	784	100.0



(2) (1) で「どうしたらよいか分かっている」回答者を助けてくれる人（問 30-①）【複数回答】

「同居の家族」が79.1%と最も多く、次いで「別居の家族」が50.7%となっています。対象者が明確なうち最も低いのは「ご近所の方」で15.7%となっています。

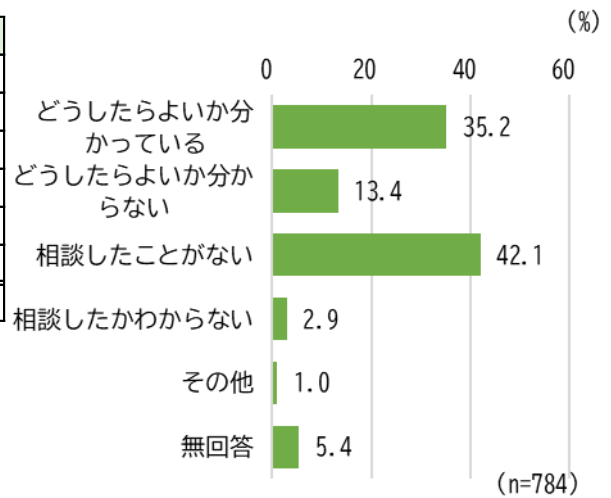
	度数(人)	割合 (%)
同居の家族	106	79.1
別居の家族	68	50.7
親戚	31	23.1
友人	30	22.4
ご近所の方	21	15.7
助けてくれる人はいない	1	0.7
助けは必要ない	1	0.7
わからない	0	0.0
その他	4	3.0
回答者数	134	0.0



(3) 自分が災害に遭遇した時に頼れる人の有無について（問 31）

「相談したことがない」は42.1%と最も多く、次いで「どうしたらよいか分かっている」が35.2%となっています。

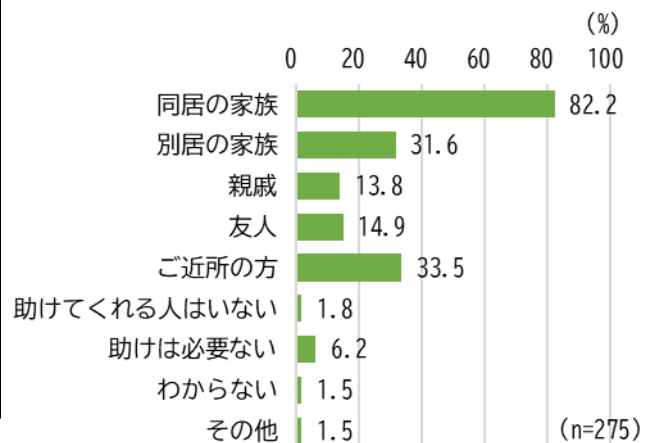
	度数(人)	割合 (%)
どうしたらよいか分かっている	276	35.2
どうしたらよいか分からない	105	13.4
相談したことがない	330	42.1
相談したかわからない	23	2.9
その他	8	1.0
無回答	42	5.4
合計	784	100.0



(4) (3) で「どうしたらよいか分かっている」回答者を助けてくれる人（問 31-①）【複数回答】

「同居の家族」は82.2%と最も多く、次いで「ご近所の方」が33.5%となっています。対象者が明確なうち最も低いのは「親戚」で13.8%となっています。

	度数 (人)	割合 (%)
同居の家族	226	82.2
別居の家族	87	31.6
親戚	38	13.8
友人	41	14.9
ご近所の方	92	33.5
助けてくれる人はいない	5	1.8
助けは必要ない	17	6.2
わからない	4	1.5
その他	4	1.5
回答者数	275	

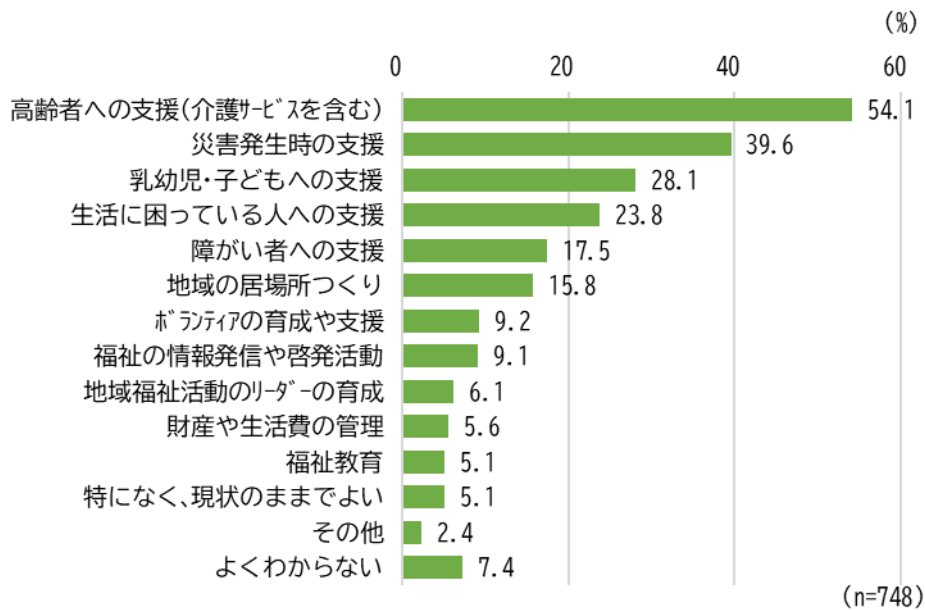


7. 松本市社会福祉協議会について

(1) 松本市社協に期待する取組み（問 32）【複数回答・3 つまで】

「高齢者への支援」は 54.1%と最も多く、次いで「災害発生時の支援」が 39.6%となっています。対象事業が明確なものうち最も低いのは「福祉教育」で 5.1%となっています。また、「特になく、現状のままでよい」は 5.1%となっています。

	度数（人）	割合（%）
高齢者への支援(介護サービスを含む)	405	54.1
災害発生時の支援	296	39.6
乳幼児・子どもへの支援	210	28.1
生活に困っている人への支援	178	23.8
障がい者への支援	131	17.5
地域の居場所づくり	118	15.8
ボランティアの育成や支援	69	9.2
福祉の情報発信や啓発活動	68	9.1
地域福祉活動のリーダーの育成	46	6.1
財産や生活費の管理	42	5.6
福祉教育	38	5.1
特になく、現状のままでよい	38	5.1
その他	18	2.4
よくわからない	55	7.4
回答者数	748	



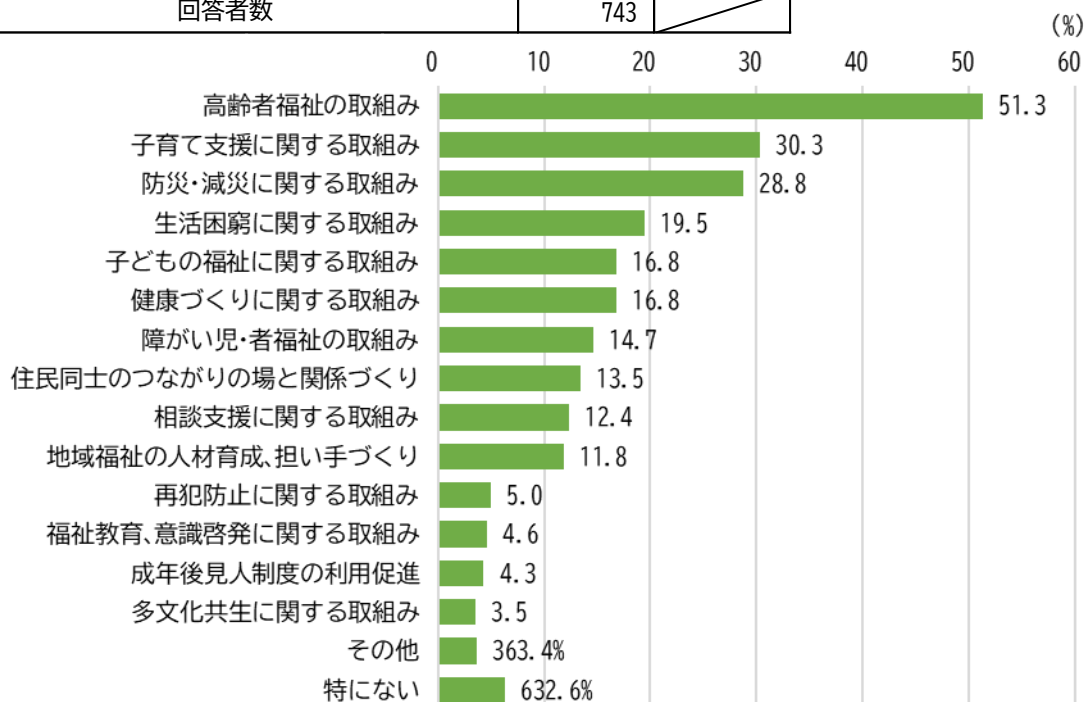
8. 市の取組みについて

(1) 地域福祉の推進に向けて市が力を入れること（問 33）【複数回答・3 つまで】

「高齢者福祉の取組み」は 51.3%と最も多く、次いで「子育て支援に関する取組み」が 30.3%となっています。対象事業が明確なもののうち最も低いのは「多文化共生に対する取組み」で 3.5%となっています。

また、「特にない」は 6.3%となっています。

	度数（人）	割合（%）
高齢者福祉の取組み	381	51.3
子育て支援に関する取組み	225	30.3
防災・減災に関する取組み	214	28.8
生活困窮に関する取組み	145	19.5
子どもの福祉に関する取組み	125	16.8
健康づくりに関する取組み	125	16.8
障がい児・者福祉の取組み	109	14.7
住民同士のつながりの場と関係づくり	100	13.5
相談支援に関する取組み	92	12.4
地域福祉の人材育成、担い手づくり	88	11.8
再犯防止に関する取組み	37	5.0
福祉教育、意識啓発に関する取組み	34	4.6
成年後見人制度の利用促進	32	4.3
多文化共生に関する取組み	26	3.5
その他	27	3.6
特にない	47	6.3
回答者数	743	



(n=743)

9. 自由記述

— 構成 —

	(1) 課題	(2) 要望
1 地域福祉		
①高齢者		・移動手段・道路環境・医療・介護 ・生活支援
②障がい	・医療・介護・生活支援	・医療・介護・生活支援
③子ども	・子育て支援・教育・遊び場	・移動手段・道路環境 ・子育て支援・教育・遊び場
④その他	・医療・介護・生活支援	
2 コミュニティ	・町会運営・仕事・町会費 ・除雪 ・防災（避難訓練など） ・町会についてその他	①高齢者 ・つながり（交流拠点・交流会など） ・ご近所付き合い・コミュニティ ・除雪 ・防災（避難訓練など） ・町会についてその他 ③子ども ・ご近所付き合い・コミュニティ
3 その他	・交通渋滞・道路環境・公共交通機関等 ・地域活性化 ・防犯 ・生活環境 ・行政 ・その他	

1 地域福祉

(1) 課題

②障がい

・医療・介護・生活支援

年齢	回答内容
60～64 歳	近所付き合いや、交流は苦手なので今のままですみごちが良い、ある程度の収入があるが母子家庭の為生活がきびしい、障害者を抱え私も、定年を過ぎてしまった、この先仕事が無くなったと、先を見るに心配がつのる。補助が欲しい。

③子ども

・子育て支援・教育・遊び場

年齢	回答内容
30～34 歳	他市町村に比べて圧倒的に子どもに対する支援が不足していると思います。松本市の人口からすれば、高齢者福祉に力を入れるのは仕方ないことと思いますが、それにしても不足していると思います。
40～44 歳	小学校も1年生は2クラスになってしまうなど、子どもの数が減っています。子どもが増えると自然と地域がにぎやかになるのではと考えています。
40～44 歳	市立の小中学校の教育の質の向上にも力を入れていただきたいです。教師も生徒も犯罪だと認識しているにもかかわらず見て見ぬフリをしていました。今も中学校を含めあまり変わらないとよく聞きます。すべての話をうのみにする気はありませんが、こんなじゃ安心して子育てできません。それにこれでは金の卵を産む移住者なんか来てくれないと思います。（移住してくれてもすぐどこかに行ってしまうと思います）松本の未来にとっても不利益でしかないと思います。

④その他

・医療・介護・生活支援

年齢	回答内容
55～59 歳	先日父が亡くなり、大変お世話になりました。このような組織の方に相談することはなかったのですが、とても親切でまた充実した制度であると感じています。これからは福祉の担い手確保が大きな課題になると思います。福祉ありきではなく、まず、自立を考えなくてはいけない気がします。

(2) 要望

①高齢者

・移動手手段・道路環境

年齢	回答内容
18～24 歳	運転できない高齢者の移動手手段の確保
55～59 歳	気になります。高齢者が気軽に免許返納ができるようになる世の中になるように改善すべきだと思います。事故が起きる前に何とかしなければならぬと思います。
60～64 歳	公共交通手段がほぼ無く、高齢ドライバーが増える地域である、自動車が無くても生活困難とならない様な取組みに期待
60～64 歳	高齢者が利用しやすい格安タクシーや小型バスを路線にもう少し増やしてほしい。
75 歳以上	高齢者として運転免許返納を考えますが、日常生活の不便を思い踏み切れません。次の事を支援して頂ければありがたいのですが。①タウンズニーカー路線(蟻ヶ崎台地区)の新設、増便 ②タウンチケットの割引販売

・医療・介護・生活支援

年齢	回答内容
18～24 歳	地区役員と一緒に地域福祉を実施出来る社会福祉士を 35 地区に配置して欲しい。社福士で無くても地域づくりに長けている職員は沢山いると思う。限られた行政予算の中であるが、出来れば地域福祉を实践主体で有る社協への人件費は補助の増額を望む。認知症、独居高齢者、ローン・オフエンダー、児童虐待などなど地域レベルでのお互いを気にかける風土、文化を構築は一朝一夕には行かない。松本市には誇るべき公民館活動がある。地区公民館活動から常会公民館活動のバックアップを盛んにする事が 上記諸問題への具体的解決策だと感じます。
18～24 歳	ひきこもり、高齢者に対する社会参加の機会の創出
45～49 歳	町会活動を行政からの委託事業化(有償)とし、高齢者や自立支援者に対する働く場所の提供
60～64 歳	地域に相談できる窓口がほしい。地域の役員では守秘義務が心配。高齢者も住みやすく、働ける場所がほしい。
65～69 歳	独居高齢者を市営住宅等に集め、孤独死をなくすと共に、社協職員の負担を軽くするような取り組みが必要と考えています。
70～74 歳	交通、病院(入院ベッド数ゼロ)、特養四賀福寿荘閉鎖が決まった様だが我々は人生をどこでとじれば良いのか?高額な金を払って入所するだけの余裕は無い!
75 歳以上	交通の便も良く医療機関も近い さらに家族も同居しているので今のところ不安も少ないが今後も高齢者福祉については介護を中心にさらに充実を図っていただきたいと思っています。

②障がい

・医療・介護・生活支援

年齢	回答内容
40～44 歳	福祉に関して、高齢者を対象にした施策は充実していると感じるが、マイノリティである障害児者の施策が極端に不足していると強く感じます。特に当事者家族の負担が非常に大きく、時間的経済的に疲弊しているため地域との関わりが減り孤立する悪循環に陥っています。また、障害者は地域で暮らす共生社会の実現を国の施策としていますが、現実には、ただ障害者家族の負担感だけが増大しています。共生社会というのなら自助だけでなく公助を増やしていかないと家族が持ちません。特に医療技術が急速に発展する中で医療ケアを必要とする障害者がかなり増えています。しかしながら公的な制度も補助も不足しており、その負担はすべて家族の負担になっています。医療ケア障害者を支えていく社会システムづくりを

	求めますが整うまで数年ないし十数年かかるとおもいます。その間、支え続けるのは家族です。その家族に対して制度が整うまでの一時的な補助金支給を強く要望します。
50～54 歳	障害者のデイサービス・施設の入入れ情報の提供、定期的に相談できる様案内が欲しい。
70～74 歳	障がい者への理解を啓発する取り組み、温かいまなざしを注げるような空気を育むための取りくみをぜひ行っていただきたい。心を病んでいて、行動が奇異に見えるために周りから理解されず更に心に傷を受けている方々がたくさんいます。

③子ども

・移動手段・道路環境

年齢	回答内容
25～29 歳	保育園や小学校が近い道を広げて、安全に登下校が出来るようにする。
55～59 歳	今、思うのは年よりも子供もちゃんと歩ける歩道。松本市全体的に、いいところは観光客がくるところだけです。さらに自転車も走りやすい道路作り。とくに年寄りがとても不便そうです。これからは自分も年をとって行くのでせめて歩きやすい道、安全な道をつくってほしい。

・子育て支援・教育・遊び場

年齢	回答内容
18～24 歳	私は、奨学金を返済しているが、現在は市内の人材確保を図るために返還支援 事業を行っていると思うが、松本市民ですが安曇野で働いていることでその制度が受けられない。そのため経済的なゆとりが生まれにくい。リターン就職者にも適応できる制度も加えてほしい。
25～29 歳	私たち夫婦二人暮らしですが 子供を持ちたい気持ちは大きくあるのですが経済的に不安があり、子供を持つことを躊躇ってしまっている状況です。安心して子供が産め、育てることが出来る環境。市として独自に経済的な支援、出産費用、保育料や給食費の免除など、市としてできることを早急に考えて欲しいと思います。
25～29 歳	産休育休の時間をもっと長くするべきだと思う。今の産休は危険な時期まで働いている。また、育休も数ヶ月で終わり、保育園に預けて社会復帰がデフォルトになっている。本当はもっと一緒にいたいのに育休が取れる時間が短すぎて家族の時間がとても少なくなっている。共働きで子どもをたくさん作るのは限界がある。何人も産んで少子化を解決したいなら、世の流れとは逆になるが、育児中は専業主婦にするしかない。完全な専業主婦ではなく子育てをする間1年間だけを専業主婦でもやっていけるような支援が必要。また育休が取れず、会社を辞めた人の社会復帰が難しすぎる。どんなにキャリアがあり、手に職があってもブランクがあるだけでパートでしか採用されない。それでは育児に専念したくても簡単に会社を辞めることは出来ない。今の社会環境があまりにも育児に向いていない。
30～34 歳	健康寿命の延伸への取り組み。子育てのサポート（小学生以上）。
35～39 歳	明石市などのように中学までの給食費を無料にして欲しいです。
40～44 歳	仕組みがあっても使うまでに複雑すぎて、手続きが多すぎて使えない。簡易的にしてほしい。例-マイナンバーの更新はwebでOKや、子育て支援も、すぐに使用できる様にするetc。
40～44 歳	「子どもを育てる」ということはそういうことか。しつけなど、子育てをするための「親育て」が必要と感じる。親世代の要望を聞くばかりでなく、「子どもにとって何が大切か」を考え、伝えていってほしいです。
45～49 歳	子供が自由にボールを使ったり、大声で遊んだりできる場所の整備、周知
45～49 歳	所得に影響しない、子供手当、高校・私立学校授業料の無償化（朝日村、南箕輪村などのほうが手当ては厚い）
45～49 歳	母子家庭の支援の中に、家賃補助などあればよい。
50～54 歳	学費など子供いる世帯を大事にしてほしい 学費など無料にしてほしい。
60～64 歳	男女の役割無く子供を育てる意識教育を企業や学校でも啓発活動行って欲しい。
65～69 歳	子どもの遊び場がない。
75 歳以上	人口減少をくい止めるべく、子育て支援に真剣に取り組んで頂きたい。

④その他

年齢	回答内容
----	------

18～24 歳	外国人が住みやすいまちづくり
60～64 歳	外国ルーツの子供で日本語が苦手勉強についていけない子供や、学校へ行けていない子の支援をして欲しい。日本になじむ様に支援することで私達も住み良い地域になっていくと思う。

2 コミュニティ

(1) 課題

・町会運営・仕事・町会費

年齢	回答内容
35～39 歳	アパートに住んでいて家賃から町会費が払われている状態ですが、おたよりがたまに届くだけで町会費を払っているメリットが全く感じられず、結局昔からその地域に住んでいる人たちが勝手に活動を行っているんだなと感じてしまっています。
50～54 歳	働き方や日常生活が多様化している現在、昔ながらの地域行事や役員選定などが負担になっている。地域という大きなくくりは必要だが、そこに住む個々の事情に合わせた運営が行政に必要だし期待したい。
50～54 歳	子どもが私立の小中学校に行ったためか、町会に加入しているにもかかわらず地区の子供会の入会の案内がなかった。転入した時に挨拶に行ったときには小学校へ入ったら子供会に入るように言われたが疑問に感じた。このこともあり、子どもも親も地域やご近所の方に対して親しみも愛着もあまり感じない。つながりというのが実際どうなのでしょう？役員をする見込みがない人は排除したかったのでしょうか？とってしまった。
55～59 歳	町会イベントが多すぎる。(月に一度の町内清掃) (町内まつり) 町会役員の仕事が多いからみんなやりたがらない。
60～64 歳	町会は、隣組で慰労会の準備・片付けの仕事が回ってきます。苦痛ですが、他の人に迷惑をかける為、行ってはいますが、この仕事の為町会をやめようと思っています。相談する場もなくなつた感じです。
70～74 歳	町会への退会者をなくす(町会の役員負担が原因となっている)。
75 歳以上	町会行事、業務が多い 特に地区長、班長等の任務にはかなりの負担を感じます
75 歳以上	町会の役員がイヤで脱会する家庭が多く、昨年まで 2 組あった隣組が 1 組になった。町会費が高い。以前暮らしていた町会の倍の金額でびっくりしています。

・除雪

年齢	回答内容
55～59 歳	通学路の雪かきを PTA・育成会不参加(家からでもこない。)

・防災(避難訓練など)

年齢	回答内容
75 歳以上	防災、自然災害の時、自分はどのようにしたらよいか不安である。

・町会についてその他

年齢	回答内容
50～54 歳	町会に以前は入っていたが、現在はアパート独自のゴミ収集になったこともあり、当番活動(資源物立ち会い、公民館掃除、回覧板など)や、地域の活動に参加することがない。子どもが小学生の時は、地区の子ども会に入っていたので、青山様、ぼんぼん、三九郎など、地域に行事に参加したが、今は地域との関わりが全くない。賃貸だと地域との関わりがなくて、災害時が心配。
65～69 歳	町会のあり方を考えなおす時だと思う。地域の方が古くからいらっしゃる方は、昔からそうだったと、今の時代に合っていないくてもしたがわせる所がある。→非合理的であっても、昔からの慣習を曲げない(考えない)、少しでも合理的な意見を言おうものなら仲間外れにされる(陰口がすごい)。
70～74 歳	地域の役員をやりたい人が少ない(当たり前のことだが・・・)ので改選時が大変である。
75 歳以上	長い間よそ者、来たり者と差別され、町会の役員など受けても、「余り出しゃばると住めなくなるぞ」など言われてきた。
75 歳以上	地区の寺社祭に強制、参加、又寄付など田舎では不適切が多い。

(2) 要望

①高齢者

- ・つながり（交流拠点・交流会など）

年齢	回答内容
18～24 歳	お年寄りが集まっておしゃべりしたり食事する場所を提供する。
75 歳以上	男性の高齢者は家にとじこもりがちなので気軽におしゃべりできる機会があれば良いと思う。文章を写して字を書く習慣をつけたい公民館で信毎の書きとり帳等やってもらえないか。

- ・ご近所付き合い・コミュニティ

年齢	回答内容
60～64 歳	地域福祉支援について高齢者福祉についてみんなで助け合って取り組みましょう。一人一人が尊重してコミュニケーション体験をする。
65～69 歳	高齢者やひとり暮らしの人を孤独にさせないために市、町会でネットワークを作り支援する体制作り

- ・除雪

年齢	回答内容
45～49 歳	雪かきは高齢者だけの家だと難しい。通学路は市で対応したら少し楽になりそう。

- ・防災（避難訓練など）

年齢	回答内容
60～64 歳	有事の際の高齢者避難支援の仕組み作り

- ・町会についてその他

年齢	回答内容
65～69 歳	資源ゴミの集積場が遠いので、高齢者は歩いて持っていきができないと思う。可燃ゴミ等の場所に出せると、便利。それでも大変な人は多いと思う。（車で 10 分のところの高齢の親の生ゴミ、資源ゴミを取りに行き、自分の地域で出している。）
75 歳以上	高齢者の町会役員を免除する事。

③子ども

- ・ご近所付き合い・コミュニティ

年齢	回答内容
18～24 歳	子育てに参加できるボランティアを作り、地域全体で子育てを支える。

3 その他（公共交通・医療など）

（1）課題

- ・交通渋滞・道路環境・公共交通機関など

年齢	回答内容
18～24 歳	道路整備が急務と思う。生活道路、運送、観光の全てを一つの道路でまかなっている事自体が不思議。市の都市計画が全く見えない。住みにくい、期待出来ない、安曇野・塩尻が羨ましい！
18～24 歳	自転車をもっと安全になってほしい。
25～29 歳	道幅の広い、片側 2 車線以上の道路整備。路面状況の改善。
35～39 歳	車の交通量の分散
35～39 歳	上高地から県外ナンバーの車がスピードを出して走ってくるのであぶない。波田地域では最近交通事故も多いので、交通面のインフラ整備などお願いしたい。子どもが事故に合うと困ります。
35～39 歳	歩道や、自転車道、車道の整備（もっと広く、安全に）

40～44 歳	居住地が住宅街のため静かな環境であり、バスの本数もそれなりに多く駅にも出やすいため住みやすいです。ただ、道路の渋滞を改善して欲しいです。
40～44 歳	道路の陥没を1年以上前から(令和6年8/19にTEL→9/17(火)9:13TEL)市役所の維持課に直接電話しても依然として修復していただけません、通学路でもあると訴えても無視。この様なアンケートも必要でしょうか、地域の声をないがしろにせず事故が起きては遅いのでこの場をお借りして書かせて頂きました。
45～49 歳	高速道路の側道を一方通行化するなど、スムーズな交通と事故の予防
45～49 歳	事故多発の交差点に警察官を配置するなど、モラルの向上や事故予防に向けた取り組み。
45～49 歳	住宅地内の交通速度規制、道路の交通ルール見直し(高速道路側道の一方通行化など)による動線のスマート化と抜け道利用の抑制による事故発生の抑制
45～49 歳	自転車の一時停止など、交通ルールの徹底、自転車道の整備、歩道走行時のルールの明確化
45～49 歳	大系線の踏切整備、島内駅、島高松駅の列車待合時の駅近くの踏切渋滞を防ぐようなダイヤ改正(特に、朝夕のラッシュ時など)
45～49 歳	市街地の車乗り入れ規制、鉄道やバス事業との連動による渋滞の緩和
45～49 歳	松本の道は狭いのに矢羽根マークを付けたことがかえって危険と思う。松本の実態に合わせて調整してほしい。
45～49 歳	松本市は総じて、道路がポコポコしている。綺麗に舗装し直して欲しい。
45～49 歳	バス増便
45～49 歳	もっと人が呼べるように駅から城にかけて町をつくり直せ！ パルコ、井上、ヨーカドー 人が集まる場所になる様にしろ！ アスファルトに代わる道路を作れ！ポコポコはよくない。交通ルールまもれ！！松本ルールはクソ！！
50～54 歳	渋滞の緩和
55～59 歳	自転車に乗る時のルールが厳しくなりましたが、松本の車道を走るのは怖すぎます。狭いし、道路はデコボコ都会(東京あたり)と同じに考えられるのはどうなのか？と考えます。
60～64 歳	道路舗道の整備
60～64 歳	公道に飛び出ている生垣の放置、指導お願いしたいです。
70～74 歳	市の道路全体に道がデコボコで自転車やバイクに乗っていて特に夜はあぶない。日本一道が悪い。
75 歳以上	病院・デパート・買い物に行くバスの路線を増やしてほしい。
75 歳以上	道路にへこんでいる所があったり、自転車に乗るときに困ったりする。なるべく平にしてほしい。水がふき出したら(TVで見た)どうするのか。
75 歳以上	歩行者を守る為のポール、ガードレール等の、設置を希望したいです。
答えたくない	個人的に現状改善するには厳しいことだと思うか、朝の通勤、夕方の帰宅の道路の混雑がなくなり、気兼ねなく席に座れたりできたら、ほんのささいなことですが生活しやすいなと感じる。こういった「これが少しこうなっていたらな」という生活の中のささいな障害が減れば、地域の住みやすさにつながるのかなと感じました。

・地域活性化

年齢	回答内容
30～34 歳	商業施設がイオンしかない。少なすぎる。子供が大きくなった時、遊ぶ所が無くて、東京に行きたいと言われたら心配すぎです。それなりの施設を作るか新幹線を通して欲しい。
45～49 歳	耕作放棄地の借り受けによる市民農園の充実による、市民の共生化、活性化
45～49 歳	空き家を民泊としてその運営を希望者に行わせることによる地域活性化
45～49 歳	松本インター付近の再開発による松本市街地、上高地間の観光の充実化
45～49 歳	住みやすさという観点ではないですが、人口流入がないとこの先衰退してしまうので、県外の人が松本を気に入って移住して来てくれるような制度づくり街づくりをお願いします。例えば松本は工芸の街としてクラフトフェアが有名です。またサイトウキネンフェスティバルや複数のギター工房がある音楽の街としても有名です。東京の友人が遊びに来るたびに「松本は素敵な街、クラフトのお店がいっぱいあるし、カフェやバーなど素敵なお店が多い。住んでいる人がうらやましい」と言ってくれます。工芸や音楽な

	ど文化面で他にはない強みがあると思いますので是非それを生かした制度作り・街づくりをお願いしたいです。
45～49 歳	観光できる場所を増やす。
50～54 歳	直近では、PARCO、井上百貨店の閉店後の有効活用。
55～59 歳	地域の住民の方でも何をされているのか分からず、地域の活性化のために協力して頂ける体制があったら助かります。日本の主食を作る農家に対する支援を強化してもらいたい。
75 歳以上	魅力ある地域、交通の便利さ、店がなさすぎ。

・防犯

年齢	回答内容
30～34 歳	街灯の増設を始めとした、夜間の安全性の強化
35～39 歳	悪質な犯罪やイタズラ等の減少のための防犯カメラの設置
70～74 歳	強盗などの犯罪が心配なので、地域に防犯カメラの設置および個人宅防犯カメラ設置補助金制定

・生活環境

年齢	回答内容
25～29 歳	騒音をたてながら走るバイクや車が出てともうさいます。規制、見回りなどが可能であればお願いしたいです。道にゴミがたくさん落ちており、せっかくきれいな景色が台無しで悲しいです。時々拾っていますがキリがありません。どうにかしたいです。(拾ったゴミを処理するのが大変です。どのように処分したら良いのでしょうか。汚れたものが多いです。また、処分の対応をしていただくことは可能でしょうか?)
60～64 歳	散歩中の犬の糞の放置
70～74 歳	問 29-8 について、現状、私たちの町にも野良猫はたくさん居てどこかのどなたかが TNR をして下さって、ごはんの世話もして下さっている。うちも何匹か TNR をしたが、他の町からやってくる新しい猫さんの対応には限界もある。ペットの飼育については、鳴き声の苦情、野良猫についてはペットとは全く別の問題もたくさん有るが、自費で TNR、ごはんの世話などをして下さっている方が、ご近所から批判されるような事がない町にしたい。他県、他市においては、野良猫についての対策もよく考えている所もあるが是非松本市もそうであって欲しい。「不適切な動物飼育」とは意味の違う意見で申し訳ありませんが、そんなことを考えている市民が居ることも、お伝えしたいです。
75 歳以上	家のまわりの草むしりをしてきれいにする。
75 歳以上	No29 市道・林道・歩道等の草取りは誰もやらないのが現実 各家庭の庭からはみ出ている小枝の処理を春に、落ち葉などの片づけを秋に一斉にやって欲しいと思う。検討してみてください。

・行政

年齢	回答内容
35～39 歳	持ち主が亡くなったりして、居ない空き家の強制解体ができないのであれば、行政が売却なりできるようにした方がいいと思う。むずかしいのは知っていると思いますが、だけど、そうしたらと誓って家立てやすいのに…。本当に。新しい家がたたれば、(移住者がふえれば) 地域はさかえる。
40～44 歳	市役所での手続きの簡便化と対応の迅速化 どんなにサービスを向上させても、時間がかかるようなら、利用を控えてしまう。サービスを受けられるか否かも含めて、すぐに回答がほしい。
40～44 歳	困りごとを市や社協に相談に行っても、横の連絡ができていないため、何度も同じコトを話さなければならず嫌になって、相談をやめてしまう事がないようにしてほしい。
45～49 歳	警察官や市役所の職員が積極的に挨拶をする関係の構築 ゴミステーションの行政見回りを実施し、地域による差(設置場所の公平性や鳥獣被害の防止)の抑制 島内地区に関しては、焼却施設設置地区として、ゴミ捨ての無償化による減免 ごみのポイ捨ての禁止や地域、河川に散乱するゴミ回収の行政支援(ゴミ拾い競争イベントの開催など)
45～49 歳	商業施設・観光資源の一極化を防ぐ行政特区
55～59 歳	市職員の身なり→化粧ハデ、ネイルハデ、態度つめたい。
60～64 歳	市役所での相続の手続きがスムーズになるべく簡単に出来る様な工夫をして欲しい。

60～64 歳	自分の生活が忙しく、近所に困っているだろうなあと感じる方がいても、なかなかお会いすることもなく・・・。できる方ができる時にだが、公的な支援に頼るしかない。公的な訪問が大切だと思う。せめて身近なところは努力したいと思う。
75 歳以上	広報まつもとが何で左からページめくりになったのか？すごく読みにくい、めくりにくい、考えられない!!
75 歳以上	「地域福祉」に頼るとしても、えんりよもあるし、「チケット制度」の様なものを作って頂ければどうでしょうか。自分がシステムの中で働いておく。納税状況も加味できる等。（考え方は、多くあると思いますけど）

・その他

年齢	回答内容
18～24 歳	公共施設が増えるのもいいですが、自然も増えると嬉しいなと思います。
35～39 歳	高齢者が多く昔からの習わしがたくさんあるが、若い世代も入ってきている。残すべきものは残し、過度なものはなくすなど時代に合わせながら世代交代ができるよう改めて見直しができる環境があるといいのかなと思う。
35～39 歳	町会に依存しない意見の集約、発信。お疲れ様です。
40～44 歳	毎月の?“でまえけん”のようなイベントがあり、子育て中、他の人とつながりたくて参加したいなと思いましたが、年配の人向けといわれてあきらめた記憶があります。いつもたのしそうで、参加したいなあと、子どももだいが大きくなりました。
50～54 歳	インフラが整っていて犯罪が極めて少ない事が大前提ですが、現役世代が安心して働ければ、結婚や戸建の購入につながり、出産が増えて税収も安定し、社会的弱者へのケアができると思います。したがって将来を担う若者が将来の生活に希望を持てる制度を検討してください。
50～54 歳	湧水が豊富な松本市。水路を整備して豊かな水の町をアピールして子供達も遊べるような場所を提供して頂きたいです。
55～59 歳	市立病院を地域の中核病院として充実させるべきだと思います。
55～59 歳	防災グッズが高くて買えない。
60～64 歳	昔の決め事等はやめてもっと若い人の意見を良く聞く。
65～69 歳	相談をしても「そうですね」「そういう場合もありますね」で具体的な方向性はでてこない。地域も広いので個人情報をつかみづらく同じ悩みを持つ人を探して相談をしている。その中立となってほしい時もあるが、会を企画すれば良いでもないと思う。
70～74 歳	市民が経済的に自立できるようにする。
70～74 歳	地域の中に気軽に少し歩いて産直野菜を買って、ひと息入れられる場所があれば、散歩も楽しくなって毎日出かけたくなります。コンビニでも既存のお店とか薬局でもよいかと思いますが、買い物しなくても、ベンチとか休息できる所が点在して欲しいと思いました。
70～74 歳	多様化社会と言えはなるほどですけども要は自分第一の風潮が多くなりなんとも小利口な人が増え平和ボケとは今の時代の事ですかね。
70～74 歳	公園に運動器具が有れば良いと思う。
70～74 歳	カルチャー教室、習い事教室の一覧が欲しいです。(市全体、全公民館の)ふらっと行ける施設がほしいです。
75 歳以上	当地区へ転居して以来1年経過するが以前暮らしていた地区に比べるとすべての面で物足りなさがある、問 33、を積極的に進めたらどうですか。
75 歳以上	選挙制度について住民に教えてください。例えば投票に行かなければ白紙委任票になってしまう etc。
75 歳以上	協力体制の充実・強化
75 歳以上	何世代も住み続けた人達が多いので、他から入った者にはなかなか住みづらい土地です。20 年余りいますが、いまだになじめないです、他人者と思われています。いずれ出て行く土地なので(住みづらいので)改善方法はわかりません。
75 歳以上	No31 地区指定の一時避難場所は蟻東公民館だがせまい。遠い人も、多勢は無理など不満もある・地区内には小学校(開智)高校(深志)もあり避難しやすい場所を選定させた方が確かだと思う。

第3章 資料編

1. 地域において課題だと感じていること(問 29)課題に関する記述

独居高齢者について

要 約	具体的な意見
<p>高齢単身・生活不安・孤立</p> <p>高齢者世帯が増加し、将来の不安、孤独感、相談相手の不在、買い物や行動の自由の制約など、心身ともに不安定になりやすいことへの対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一人暮らしの人が入院したと知らず何度も集金に行ったが不在だった。 ・ 今は2人で住んでいるが1人になった時が不安 ・ 普段から子供達と連絡を取り合うようにしたい。 ・ 80歳を超えたあとが心配 ・ 孤独感から自殺しそうな人を助けてほしい。 ・ 相談できない人をどう拾い上げるのか。 ・ 高齢化社会を感じる。 ・ 一人暮らしの高齢者の増加 ・ 車がないと買い物ができない。 ・ 車の運転に不安がある。
<p>地域との関係・町内会の負担</p> <p>高齢化により地域活動の担い手が減少し、町内会の役割分担が難しくなっていることへの対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町会の役員が困難 ・ 清掃やゴミ当番などは免除されるべき。 ・ 若者にまかせたと言って地域活動に参加しない。 ・ 地域活動や町内会の役割が難しい。 ・ 状況が地域で全くわからない。 ・ 空き家が増える。 ・ 庭の枝が道路にはみ出している。
<p>支援ニーズに応じた対応</p> <p>支援や交流の在り方も個別対応への対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見守り、声かけ ・ 庭先で会話できると気持ちが良い。 ・ 頼れる家族や知人がいるかどうかが重要 ・ 1人でいたい人とそうでない人の調査が必要

① 子育てについて

要 約	具体的な意見
<p>子育て・教育に関する経済的・制度的支援</p> <p>出産や育児にかかる費用が重く、児童手当や保育料の支援、医療費・給食の無償化など経済的な負担軽減に向けた対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童手当の拡充（特に中高生） ・ 出産費用・妊婦健診の自己負担が重い。 ・ 無痛分娩が普及していない。 ・ 育休中の手当が住民税で差し引かれる。 ・ 扶養控除（年少扶養控除）がなくなり負担増 ・ インフルエンザ予防接種の負担が大きい。 ・ 保育園に入れない。 ・ 保育料や幼児教育の経済的支援 ・ 養子縁組制度の簡素化希望 ・ 給食無償化してほしい。 ・ 収入があると手当が打ち切られる。 ・ 家賃が高すぎて生活が安定しない。

<p>少子化・子どもが少ないことへの不安と影響</p> <p>子どもの数が減り、PTA や行事にも影響が出ていることへの対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に子供が少なく、活気がない。 ・ 通学や遊びの友達がいない。 ・ 近所に子どもがいない。 ・ 子どもが少なくてさびしい。 ・ PTA や行事が成り立たない（人数不足）。 ・ 子どもが少なく PTA イベントができない。
<p>地域社会・近隣との関係性が希薄</p> <p>地域のつながりが弱く、高齢者との交流や親世代の支援も得にくい状況への対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者が子どもによそよそしい。 ・ 地域活動が希薄 ・ 地域で子どもと関わる機会が少ない。 ・ 祖父母が仕事をしていて育児の手助けがない。 ・ 一緒に登校や遊ぶ相手がいない。
<p>PTA や学校関連の課題</p> <p>PTA 活動が負担になっていることへの対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ PTA がない、機能していない。 ・ PTA が負担、参加が難しい。 ・ PTA はパイプ役だが現状そうっていない。 ・ 学校関連の行事に参加できない家庭もある。 ・ 親育て（家庭教育）も必要ではないか。
<p>通学路・交通安全の不備</p> <p>通学時の安全対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道がない。 ・ 通学路が狭くて危ない。 ・ 横断歩道や信号の整備が不十分 ・ 小学生の登下校が危険 ・ 通学路が悪路
<p>放課後・子育て支援施設・育児環境の整備</p> <p>放課後に子どもが安心して過ごせる環境づくりが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの遊び場が少ない。 ・ 遊具が少ない。 ・ 放課後見守る大人がいない。 ・ 児童センターにバスがなく利用しづらい。 ・ 学童の先生を横断歩道に配置してほしい。 ・ 長野市ながノビのような施設がほしい。
<p>不公平感</p> <p>高齢者優遇に偏っていることへの対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者ばかり大切にされている。 ・ 現役世代の声が尊重されない。 ・ 子育て支援の優先度が低い。 ・ 見ず知らずの高齢者をボランティアで助ける余裕がない。

② 認知症について

要 約	具体的な意見
<p>支援体制への問題意識</p> <p>認知症を取り巻く支援制度や対応が長年変わっておらず、制度改善への対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 早く見つけ認知をなおす事ができたらと思います。 ・ 誰もがなる可能性があるのに支援が変わっていないことに問題がある。 ・ 支援がずっと変わってないことに問題点があるのかな。 ・ 制度面の課題として考えておくべき。 ・ 高齢者として考えておく課題の一つ。
<p>地域における認知症支援・見守り</p> <p>近所の高齢者の状況が見えにくく、行方不明や徘徊の事例も多い中で、地域での見守り支援のあり方について対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の理解度を深める。 ・ 徘徊や訪問者への対応に不安がある。認知症を隠すことで対応が遅れること。 ・ 近所の高齢者の状況が全く分からない。 ・ 行方不明者の放送が多いと感じる それだけ支援が必要な家庭があるのだと思う。 ・ 近隣でのサポートが少ない。デリケートな部分であり、介入が難しい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行方不明者の放送をよく聞くが、不明にならないように住民にできることがあれば手伝いたい。 ・ 徘徊なのか散歩なのか分からない人を見かける。 ・ 高齢化社会を感じる。 ・ 自分が認知症になったら心配です。 ・ 接し方が分からない。
--	---

③ 生活困窮者について

要約	具体的な意見
個別支援の必要性 相談できない人への配慮が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 相談できない人をどう拾い上げるのか。 ・ 一人親の支援 ・ “助けて” の声を上げられるシステムができているか。
生活困窮・物価高・働き口の不足 収入の少ない人や就労条件が合わない人の困窮、物価高騰などへの対策が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 最近は物価高で経済的に大変な人が増えてきていると思います。 ・ お米はあるのでしょうか？お米券くばりしましたか？ ・ 人手不足といっているのになぜ職に就けないのか。 ・ 物価高 ・ 貧困世帯の増加、グレーゾーンの人々の支援
高齢者・年金生活者の経済的困難 年金受給者の税負担や働き口のなさ、高齢者向け支援の必要性に対して対策が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年金生活者に対する、町会費、寄付金、水利費等の取り扱い方 ・ 年金受給者の税金が高すぎる。年金受給者の働き口がない。(3Kそのもの) ・ 近所の高齢者の状況が全く分からない。 ・ 生活保護者が多い。 ・ 収入が少なく困っている。働く所が条件にあわずない。 ・ シニアでも働ける所がほしい。

④ 障がい者について

要約	具体的な意見
交流や地域のつながりが希薄 地域での障がい者との交流が少なく、孤立を助長する状況があることへの対策が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域に居場所がない。 ・ 地域との交流があればよい。 ・ 周囲の状況がわからない。 ・ 近所の親子の泣き声を聞いても助けられない。
働く・暮らすための基盤づくり 障がい児者の受診先の確保や預け先や就労環境の体制整備が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい児を預けられる場所を拡充してほしい。 ・ 障がい者がもっと就職できる社会になってほしい。 ・ 親が安心して働ける環境を作ってほしい。 ・ 好きで障がいがあるわけではない、支援を拡充してほしい。 ・ 子どもの今後、親なき後が心配 ・ 本人・介護者が気軽に相談できる機会がほしい。 ・ 強度行動障害のある人の外来対応がわからない。
地域資源・事業所の不足 福祉事業所や通所・入所施設が不足していることへの対策が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 松本北部地域に障害児者の事業所が極端に不足している。 ・ 他地域の事業所への送迎に対する施策がないため家族の負担が大きい。 ・ GH（グループホーム）が少なすぎる。 ・ 入所施設、行動援護施設が不足している。

<p>社会的な理解・役割負担への疑問</p> <p>障がい者やその家族に地域役員の負担が課されることへの対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者家庭も町会役員に任命される。 ・精神障がい者にも町会役員が回ってくる。 ・町会の役員が回ってきても担えない。
<p>移動・生活環境の整備</p> <p>障がい者や高齢者が安全に移動できる道の整備が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・道が悪い。 ・杖や車椅子でも安全に移動できる道路を。 ・歩行不能になり、杖を2組用意して生活している。

⑤ 不登校について

要約	具体的な意見
<p>子どもと家庭の関係・保護者支援</p> <p>親子関係や家庭への支援が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し、親が関心をもち子どもによりそうと良いと思う。 ・子どもの頃からの親との信頼関係を作っていく事が難しくなってきた。 ・居場所を作って欲しい。親のサポートもあって欲しい。 ・なぜ不登校になってしまうのか、その原因つきとめてほしい。
<p>学びの多様性・居場所の必要性</p> <p>多様な学び方や居場所の存在が不登校の子どもにとって重要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な学び方があると思う。 ・身近にフリースクールがあると利用しやすい。 ・ひきこもりと同様 ・具体的な内容はありませんが、子どもが健やかに育ってほしいと思う。
<p>支援体制・制度の充実と地域差</p> <p>相談先の不足をはじめ不登校支援の地域差や支援の幅の狭さに対する対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校支援に関して、地域差が課題だと思う。 ・田舎の不登校の子どもたちは都会の子どもと比べて支援が受けられにくい。 ・穏やかで良い子どもが多いと感じるが 不登校が多いとも聞く。実際卒業までほとんど来られない子も多く心配だ。 ・支援の幅が狭い。 ・フリースクール等足りない。 ・支援の充実 ・学校の対応が悪い。 ・相談する先がわからない。 ・生徒に対する対応の仕方

⑥ ひきこもりについて

要約	具体的な意見
<p>ひきこもりの背景と多様な実態</p> <p>背景が複雑であり、画一的でない実態理解への対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・8050 問題 ・なぜひきこもりになってしまうのか、その原因をさぐりたい。 ・外に出たくない人をどうしたら社会にとおもいますが、人の幸せは形だけではないと思う。
<p>地域社会とひきこもり支援の接点づくり</p> <p>ひきこもりが地域から見えにくく、住民理解の促進について対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・人は地域の財産であり活力です。ひきこもりはもったいない。 ・地域住民のことをみんなで把握する。声かけしやすい地域づくり ・ひきこもりは時折見聞きしますが、地域のなかでも閉ざされている感じがします。

相談・支援体制の不十分さ ひきこもり本人や家族が支援にアクセスしづらい現状がある。	<ul style="list-style-type: none"> ・相談の場が少ない。 ・うつ病に起因するひきこもりを相談支援する場が欲しい。 ・本人及び親が気軽に相談できる機会、場所があるのか。 ・ひきこもり者が多く地域役員がすぐに回ってきてしまう。
社会復帰・就労支援と長期支援 社会復帰や就労を見据えた支援が求められている。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会復帰が難しい。 ・成人のひきこもり、就業の相談手助け ・具体的な支援案を長期的にしてもらえるか。

⑦ 不適切な動物飼育について

要約	具体的な意見
フン害・衛生被害 猫や犬、鳥などのフン被害が庭や道に多発しており、生活環境が損なわれていることへの対策が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・どこから来るのか、庭に猫の糞がよくある。 ・野良猫、カラス、椋鳥等への対策をしてほしい。 ・野良猫がいて、糞に困っている。 ・ノラネコをどうにかして下さい。トリのフンも。 ・ネコのフン問題 ・犬や猫のフンに困っています、近所で猫をたくさん飼っていて迷惑しています。 ・猫鳥の糞害 ・犬、猫のフン害 ・庭のプランターに猫の糞があった。
マナーや飼い主の責任 ペットの飼い主によるマナー違反への対策が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・マンション住人のペットに対するマナー ・愛犬家のマナーが悪い。 ・便の後処理、むだに吠えて困る。
地域的対策・教育的対応 地域的な TNR*や共生の仕組み、動物福祉や命の教育など包括的な対策が必要である。 <small>*TNR：野良猫を捕獲し、不妊・去勢手術を施し、元の場所に戻すこと</small>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に住む野良猫さんの対策、TNR をして地域で生涯過ごさせてやりたい。 ・むごい、扱いをする動物虐待の原因を知りたい。 ・命の大切さを子どもへ伝えていきたい。
餌やり・放し飼い・繁殖管理 野良猫への餌やりや放し飼いが繁殖や被害の原因となっていることへの対策が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・野良猫に無用にエサをやる。 ・猫を放し飼いにしないでほしい。 ・これはえさをやらないと教えるしかないのでは。 ・野良猫に餌を与えている方がいるので増えて家の廻りに糞をされて困っています。 ・ねこが畑に侵入

⑧ 外国人(居住している人)について

要約	具体的な意見
マナー・モラル ゴミ出しや騒音、マナー違反など生活習慣の違いによる摩擦の解消が必要である。	<ul style="list-style-type: none"> ・BBQ や音楽、大声などで迷惑を感じる。 ・ゴミ出しルールやマナーの理解不足がある。 ・共用部の私的利用がある。 ・自転車の乗り方が悪い、危険 ・夜中の騒音がある。

<p>地域活動への参加</p> <p>地域活動に参加しないことで、町内会の運営に支障が出ており対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ゴミ当番・町会費など地域活動に参加しない。 ・ 町会費の徴収が困難 ・ 存在が不明で地域との関わりが薄い。
<p>治安・騒音・ゴミ</p> <p>治安や騒音、ゴミの問題など生活環境に関する不安があり対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人による犯罪の増加や治安の悪化への懸念 ・ 集団での行動に不安を感じる。 ・ 夜間の騒音、ゴミの散乱が問題
<p>交流・情報不足</p> <p>交流不足による戸惑いや情報の不足が問題となっており、対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民との交流方法が分からず戸惑う。 ・ 外国語での案内や情報が足りない。 ・ 不在時の対応や住民同士の関係構築に課題がある。 ・ 地域住民との交流方法が分からず戸惑う。 ・ 外国語での案内や情報が足りない。 ・ 不在時の対応や住民同士の関係構築に課題がある。

⑨ DV(親密な関係からの暴力)や虐待について

要約	具体的な意見
<p>被害の兆候・不安の訴え</p> <p>虐待を疑うような事例や不安に対する対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ アパートの上階から怒鳴り声や泣き声が聞こえる（深夜等でも）。時間を問わず奇妙な物音がする（釘を打つような音）。 ・ 見えない虐待があるのか？心配
<p>支援・通報体制の整備</p> <p>相談・避難できる体制の周知や整備が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 疑いの段階でも相談できる場があると良いと思う。個人情報保護の課題などをクリアできる方法を検討してほしい。すでに手段があるなら、その情報を広めてほしい。 ・ 避難出来る場所がない。 ・ 声をあげられない人をどう救うのか。 ・ すぐ逃げられる場所はあるのでしょうか？ ・ 虐待を防ぐ方法はないか、しらべたい。

⑩ LGBTQ(性同一性障害)等について

要約	具体的な意見
<p>差別・偏見への対策</p> <p>性的マイノリティへの配慮や支援体制の強化に対する対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同性愛者を助けてほしい！！（精神病ではない） ・ 尊重したい。 ・ トイレなどはどうしているのでしょうか？ ・ もっと積極的に取り組むべき。 ・ おかまとか差別用語でののしられた。 ・ 身近に感じたことがない。

⑪ その他について

要約	具体的な意見
<p>町内会・地域運営の負担</p> <p>町会役員の担い手不足や、若年層の参加が少なく、対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町会の役員や清掃、行事などの負担が大きすぎる。町会に頼りすぎない地域づくりをしてほしい。 ・ 町会行業、運営、若い世代はしない。 ・ 地区の役員をやりたいくない お祭りの舞台引きなどコロナ前にもどそうとしている 仕事していて忙しいのに役員が回ってくる。

	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時などで地域の役に立ちたいが方法がわからない。
<p>ごみ・野焼き・環境問題</p> <p>野焼きや不法投棄に関する対策が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅地で頻繁な野焼きが有る。煙、臭いで洗濯物も干せない。 ・自分の家はきれいにするが、他人の家の前でゴミを捨てる人がいる、敷地内の物を持っていかれた事がある。 ・ゴミ出しのルール、マナー
<p>交通・道路・インフラ整備</p> <p>道路の狭さや舗装の悪さ、バスなど公共交通の不便さがある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・交通の便が悪い。車が無いと生活が困る。 ・住宅街を抜け道にしている人が、猛スピードで狭い道を走っていくのが怖い。 ・道路にはみ出してとめている車、道路にはみだしている庭木、花 ・税金を払っているのに、町会費や、カーブミラーなど個人負担が多すぎる。本来ならば税金でまかなうべきだと思う。
<p>防犯・空き家対策</p> <p>空き家の増加防犯カメラが必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家が多くなっており、生活環境が著しく悪化している。 ・防犯カメラが無い所が多いのもっと付けてもらいたい。 ・廃墟や無人の家が複数軒あり、治安的に心配がある。
<p>若者定住・少子化対策</p> <p>若者が定住・結婚・子育てしやすい地域にするための支援が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若者が安心して収入を得られ、パートナーと未来を築く事が大切だと思います。 ・若者が町会活動に参加してくれない。 ・共働きの子育て世代が多いが地区の役員があつたりして大変そう。宮費が高い。 ・町会、常会等の役員の負担について高齢化が進み若者の負担が多くなっている。
<p>公共施設的环境整備</p> <p>公共施設の整備や清潔さに対する改善が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公園等のトイレの清潔さ。子どもが使うのできれいな所にしてほしい。 ・人口は多い地区なのに、図書館など公共施設がない。 ・雑草・落ち葉等一斉掃除の実施

2. 調査票

松福福第140号

松本市地域福祉計画策定にかかる 松本での暮らしに関するアンケートへのご協力をお願い

日頃から市政運営にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

松本市では、現在「第5期松本市地域福祉計画」の策定を進めています。この計画は、地域の中で安心して暮らし続けることができるよう、住民同士が助け合い・支え合う地域「互助」を実現するために「公助」「共助」「自助」において何をしていくべきかを示すものとなっています。

計画策定にあたり、皆様の地域福祉活動の現状やお考え、ご意見などをお聞きするためのアンケート調査を実施することになりました。お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

松本市長 臥雲 義尚

<ご記入にあたってのお願い>

- 本調査は、住民基本台帳から無作為に選んだ1,500人の皆様に送付しています。封筒の宛名の方が回答対象となります。**必ず「宛名のご本人」様**がご記入ください。
- 宛名のご本人様が病気等により回答が難しい場合は、ご家族や支援者の方がご本人様の意見を聞き取り記入いただくか、調査用紙の破棄をお願いします。
- 調査は無記名で行い、統計的に処理します。個人が特定されることはありません。率直なご意見をご回答ください。
- **インターネットでも回答を受け付けています。**インターネットで回答した場合は、調査用紙の返送は不要です。回答の重複を防ぐため、インターネット回答用番号を付していますが、個人を特定するものではありません。

◆ご回答受付期間：令和 7年 7月4日（金）まで

同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、ポストにご投函ください。

インターネットでの回答は下記 URL か右の QR コードにアクセスし、「回答する」をクリック後、以下のインターネット回答用番号を入力してください。

▼インターネット回答用の URL

<https://questant.jp/q/fukushi>

インターネット回答用番号 【 】

※個人を特定するものではありません

スマートフォンやタブレットなどからも回答可能です。



【アンケート実施松本市担当課】松本市健康福祉部福祉政策課

【アンケートに関するお問い合わせ先】

特定非営利活動法人 SCOP（スコープ）※松本市からの本調査の委託先

〒390-0811 長野県松本市中央2丁目3-17

TEL：0263-36-9180 FAX：0263-36-9185

(1) あなたご自身のこと等について伺います

問1 性別についてご回答ください。(○は1つ)

1. 男性	2. 女性	3. 答えたくない
-------	-------	-----------

問2 年齢についてご回答ください。(○は1つ)

1. 18～24歳	2. 25～29歳	3. 30～34歳	4. 35～39歳	5. 40～44歳
6. 45～49歳	7. 50～54歳	8. 55～59歳	9. 60～64歳	10. 65～69歳
11. 70～74歳	12. 75歳以上	13. 答えたくない		

問3 現在の居住地区についてご回答ください。(○は1つ)

1. 第1地区	2. 第2地区	3. 第3地区	4. 東部地区
5. 中央地区	6. 城北地区	7. 安原地区	8. 城東地区
9. 白板地区	10. 田川地区	11. 庄内地区	12. 鎌田地区
13. 松南地区	14. 島内地区	15. 中山地区	16. 島立地区
17. 新村地区	18. 和田地区	19. 神林地区	20. 笹賀地区
21. 芳川地区	22. 寿地区	23. 松原地区	24. 寿台地区
25. 岡田地区	26. 入山辺地区	27. 里山辺地区	28. 今井地区
29. 内田地区	30. 本郷地区	31. 安曇地区	32. 奈川地区
33. 梓川地区	34. 四賀地区	35. 波田地区	36. わからない

問4 松本市での居住状況についてご回答ください。(○は1つ)

1. 生まれてから松本市にずっと住んでいる
2. 松本市生まれだが、市外での居住経験がある
3. 市外で生まれ、松本市に転入してきた
4. その他 ()

問5 松本市での通算居住年数についてご回答ください。

(※転出経験のある方は、その間の年数を除いた合計年数でお答え下さい) (○は1つ)

1. 1年未満	2. 1～5年未満	3. 5～10年未満
4. 10～20年未満	5. 20～30年未満	6. 30～40年未満
7. 40～50年未満	8. 50年以上	

問6 居住形態についてご回答ください。(○は1つ)

1. 持ち家（一戸建て）	2. 持ち家（マンション）
3. 賃貸住宅（一戸建て）	4. 賃貸住宅（マンション・アパート）
5. 社宅・官舎・寮	
6. その他（ ）	

問7 世帯構成についてご回答ください。(○は1つ)

1. ひとり暮らし	2. 夫婦のみ	3. 親と子（二世帯）
4. 祖父母と親と子（三世帯）		
5. その他（ ）		

問8 あなたには、あなたが日常生活のお世話や経済的な支援をしている、以下のような方はいますか。
(○はいくつでも)

1. 乳幼児（未就学の児童）	2. 小学生・中学生
3. 高校生・大学生・専門学校生等	4. 65歳以上の方
5. 介護を必要とする方	6. 身体・知的・精神などの障がいのある方
7. 65歳未満の収入の無い方	8. いずれもない

問9 就業状況をご回答ください。(○は1つ)

1. 正規の職員	2. 非正規の職員・従業員 (派遣職員・パート・アルバイト等)
3. 自営業・個人事業主（農業含む）	4. 学生
5. 専業主婦・主夫	6. 無職
7. その他（ ）	

問10 あなたの世帯は町会に加入していますか。加入している場合、役員等の経験がありますか。
(○は1つ)

1. 加入しており役員や委員等の役をやっている・やったことがある
2. 加入しているが役員や委員等の役をやったことはない
3. 以前は加入していたが、今は加入していない
4. 加入していない
5. 加入しているかどうかわからない
6. その他（ ）

(2) あなたご自身の暮らしの状況等について伺います

問11 あなたには、時間的なゆとりはありますか。(〇は1つ)

1. ゆとりがある	2. どちらかといえばゆとりがある
3. どちらかといえばゆとりがない	4. ゆとりがない

問12 あなたには、経済的なゆとりはありますか。(〇は1つ)

1. ゆとりがある	2. どちらかといえばゆとりがある
3. どちらかといえばゆとりがない	4. ゆとりがない

問13 あなたは、現在、心身ともに健康ですか。(〇は1つ)

1. 非常に健康である	2. まあ健康である
3. あまり健康でない	4. 健康でない

問14 あなたは、現在、どの程度幸せですか。「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点としてご記入ください。(〇は1つ)

0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点
とても不幸←					→とても幸せ					

(3) 人とのつながりや交流について伺います

問15 同居していない家族や友人等とのコミュニケーションの手段とその頻度について、該当する番号を選択してください。(それぞれ当てはまる番号1つに〇)

コミュニケーションの手段 ※用いていない手段については「全くない」を選択してください。	頻 度						
	週4～5回以上	週2～3回程度	週1回程度	月2～3回程度	月1回程度	年数回程度	全くない
① 直接会って話す	1	2	3	4	5	6	7
② 電話(ビデオ通話を含む)	1	2	3	4	5	6	7
③ 郵便やFAX	1	2	3	4	5	6	7
④ SNS(LINE、電子メールなど)	1	2	3	4	5	6	7
⑤ その他()	1	2	3	4	5	6	7

問16 あなたは、普段、週にどのくらいの頻度で外出していますか。(○は1つ)

1. 週に5回以上	2. 週に3～4回程度	} 問16-①ハ
3. 週に1～2回程度		
4. 週に1回未満	5. ほとんど外出しない	} 問17ハ
6. 身体的に外出ができない状況である		

前問で、「1. 週 5回以上」「2. 週 3～4回程度」「3. 週に1～2回程度」と回答した方のみ、お答えください。

問16-① 最近1週間に行った外出の目的は何ですか。(○はいくつでも)

1. 仕事・学校	2. 人とのつきあい・交流
3. 趣味や娯楽、散歩や運動	4. 地域活動・ボランティア活動
5. 食事・買物・日常の用事	6. 通院
7. その他 ()	

問17 あなたは現在、仕事や学業以外で人と交流する活動に参加していますか。当てはまる活動を以下から選択してください。(○はいくつでも)

1. PTA・町会などの活動
2. ボランティア活動
3. スポーツ・趣味・娯楽・教養・自己啓発などの活動(部活動等含む)
4. その他の活動()
5. 特に参加はしていない

問18 あなたは、自分には人とのつきあいが無いと感じることがありますか。(○は1つ)

1. まったく感じることはない	2. ほとんど感じることはない
3. 時々感じる	4. 常に感じる

問19 あなたは、自分は他の人から孤立していると感じることがありますか。(○は1つ)

1. まったく感じることはない	2. ほとんど感じることはない
3. 時々感じる	4. 常に感じる

問20 あなたは現在、社会や他人とのかかわり方に満足していますか。(○は1つ)

1. 満足している	2. まあ満足している	3. どちらともいえない
4. やや不満である	5. 不満である	6. わからない

(4) 誰かに相談することや誰かを頼ることについて

問21 あなたにとって、相談相手と思う方は次のうち誰ですか。(〇はいくつでも)

1. 家族	2. 親戚	3. 友人・知人
4. 職場の上司や同僚	5. 学校の先生や学生仲間	6. 近隣住民
7. サークル等の仲間	8. SNS（インターネット等）の仲間	9. 町会などの役員
10. 民生・児童委員	11. 市の担当職員	12. 社会福祉協議会の職員
13. 地区生活支援員、福祉ひろばコーディネーター	14. 相談相手と思う人はいない	
15. その他（ ）		

問22 ご近所の方とは、どのような付き合いをしていますか。

「①現在の付き合い方」に最も近いものと、「②希望する付き合い方」をそれぞれ選択してください。
(それぞれ当てはまる番号1つに〇)

付き合い方	①現在の付き合い方	②希望する付き合い方
何かにつけて相談でき、助け合える関係	1	1
あまり堅苦しくなく話し合える関係	2	2
会えば挨拶をする程度の付き合い	3	3
お互いに特に関わろうとしない関係	4	4

問23 あなたは、自分の力では解決できない日常的な困りごとを抱えた場合に、家族以外に頼ることができますか。(〇は1つ)

1. 頼れる	2. どちらかといえは頼れる	3. どちらともいえない	4. どちらかといえは頼れない	5. 頼れない
--------	----------------	--------------	-----------------	---------

問 24 へ

問 23-① へ

前問で「4.どちらかといえは頼れない」「5.頼れない」と回答した方のみ、お答えください。

問 23-① あなたが、「頼れない」と感じた理由について、一番近いものはどれですか。(〇は1つ)

1. 頼る相手がいないから
2. 頼っても対応してもらえないと思うから
3. 過去に頼った時にうまくいかなかった経験があったから
4. 頼る相手に迷惑をかけてしまうから
5. 自分の弱みを見せるのが恥ずかしいから
6. その他（ ）

問24 近所に住んでいる、何らかの支援を必要としている方(一人暮らしの高齢者・介護をしている家族、子育て中の家族等)への支援(日常生活上の手助け・お手伝い)について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(〇は1つ)

1. 近所に住む者として、できる範囲で支援したい
2. 支援をしたいが、何をすればいいのかわからない
3. 支援をしたいが、自分のことで精一杯でその余裕がない
4. 支援は市役所などがやる仕事なので、自分がしなくてもよい
5. 余計なお世話になってしまうので、支援はしない
6. その他 ()
7. わからない

問25 あなたが「お手伝いできる」こと について教えてください。

ご近所や町会の方が、高齢や病気、子育て等で悩みや困難を抱えたとき、あなたは、普段のお付き合いやボランティア活動を通じてどのような手助けができますか。

(〇はいくつでも)

1. 見守りや安否確認の声かけ	2. 話し相手
3. 買い物の代行(お使い)	4. 外出の支援(車への同乗など)
5. 買物や通院の付き添い	6. ゴミ出し
7. 草取りや庭の手入れ	8. 家屋内の掃除など家事支援
9. 雪かき	10. 短時間の子どもの預かり
11. ペットの世話	12. 特にない
13. その他 ()	

問26 あなたが「お手伝いして欲しい」こと について教えてください。

あなたやご家族が、高齢や病気、子育て等で悩みや困難を抱えたとき、普段のお付き合いやボランティア活動を通じてどのような手助けをしてほしいですか。その他、頼りたいことがあればお答えください。(〇はいくつでも)

1. 見守りや安否確認の声かけ	2. 話し相手
3. 買い物の代行(お使い)	4. 外出の支援(車への同乗など)
5. 買物や通院の付き添い	6. ゴミ出し
7. 草取りや庭の手入れ	8. 家屋内の掃除など家事支援
9. 雪かき	10. 短時間の子どもの預かり
11. ペットの世話	12. 特にない
13. その他 ()	

(5) 地域の様子について伺います

問27 あなたの暮らしている地域について、最も近いと思うものをそれぞれ1つ選んでください。

(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

①～⑭の各項目について、1「非常に当てはまる」～5「あてはまらない」の5段階の中から、1つ選んでお答えください。 ご自身の経験や接点がなく、回答することができない場合は、6「わからない」を選択してください。		1 非常に当てはまる	2 ある程度当てはまる	3 どちらともいえない	4 あまりあてはまらない	5 あてはまらない	6 わからない
地域の状況							
①	ゴミ出しや生活ルールを守っている人が多い	1	2	3	4	5	6
②	私は、地域の人とあいさつをすることが多い	1	2	3	4	5	6
③	私は、地域のイベントには積極的に参加している	1	2	3	4	5	6
④	私は、地域とつながりがあり、居場所があると感じる	1	2	3	4	5	6
⑤	日常の買い物をしたり、飲食を楽しむのに不便がない	1	2	3	4	5	6
⑥	防犯対策（交番、街灯、防犯カメラ、住民の見守り等）が整っており治安が良い	1	2	3	4	5	6
⑦	気の合う仲間や知り合いがいる	1	2	3	4	5	6
⑧	互いの個性や立場を尊重し合える地域である	1	2	3	4	5	6
⑨	私は同じ地域に住む人たちを信頼している	1	2	3	4	5	6
⑩	私は、この地域に対して愛着を持っている	1	2	3	4	5	6
⑪	私は、地域の人が自分をどう思っているかが気になる	1	2	3	4	5	6
⑫	地域の雰囲気、自分にとって心地よい	1	2	3	4	5	6
⑬	医療機関が充実している	1	2	3	4	5	6
⑭	介護や福祉サービスを受けやすい	1	2	3	4	5	6

問28 住民が集まるために、どのような機会や場所があったら良いと思いますか。

(○はいくつでも)

1. 簡単な体操など、体を動かす機会	2. 気軽におしゃべりが楽しめる機会
3. 趣味や教養を学ぶ機会	4. みんなでお茶を飲んだり、会食をする機会
5. 地域のことをみんなで考える機会	6. 子どもや若者など多世代と交流できる機会
7. 特に目的がなくても居られる場所	8. その他 ()
9. 特になし	

問29 地域において、あなたが課題だと感じていることは何ですか。(○はいくつでも)

また、具体的な内容があれば () 内に記入してください。

1 子育て ()	2 障がい ()
3 独居高齢者 ()	4 認知症 ()
5 生活困窮 ()	6 ひきこもり ()
7 不登校 ()	8 不適切な動物飼育 ()
9 LGBTQ (性同一性障害) 等 ()	10 DV (親密な関係からの暴力) や虐待 ()
11 外国人 (居住している人) ()	12 その他 ()
13 特になし	14 わからない

(6) 非常時の対応等について伺います

問30 あなたは、急病で動けなくなった時の対応について、相談したことがありますか。(○は1つ)

1. 相談したことがあります、どうしたらよいか分かっている	→ 問30-①へ 問31へ
2. 相談したことがあるが、どうしたらよいか分からない	
3. 相談したことがない	
4. 相談したかどうか分からない	
5. その他 ()	

前問で「1.相談したことがあります、どうしたらよいか分かっている」と回答した方のみお答えください。

問30-① 急病で動けなくなった時あなたを助けてくれる人は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 同居の家族	2. 別居の家族	3. 親戚	4. 友人
5. ご近所の方	6. 助けてくれる人はいない	7. 助けは必要ない	8. わからない
9. その他 ()			

問31 あなたは、地震等の災害発生時の避難について誰かと相談したことがありますか。(○は1つ)

1. 相談したことがあります、どうしたらよいか分かっている	→ 問31-①へ 問32へ
2. 相談したことがあるが、どうしたらよいか分からない	
3. 相談したことがない	
4. 相談したかどうか分からない	
5. その他 ()	

前問で「1.相談したことがあります、どうしたらよいか分かっている」と回答した方のみお答えください。

問31-① 避難の際にあなたを助けてくれる人は誰ですか。(○はいくつでも)

1. 同居の家族	2. 別居の家族	3. 親戚	4. 友人
5. ご近所の方	6. 助けてくれる人はいない	7. 助けは必要ない	8. わからない
9. その他 ()			

(7) 松本市社会福祉協議会の取組みについて伺います

問32 「松本市社会福祉協議会」では次のような取組みを行っています。今後、さらに期待する取組みを選択してください。(〇は3つまで)

1. 高齢者への支援（介護サービスを含む）	2. 乳幼児・子どもへの支援
3. 障がい者への支援	4. 生活に困っている人への支援
5. ボランティアの育成や支援	6. 地域福祉活動のリーダーの育成
7. 福祉教育	8. 災害発生時の支援
9. 地域の居場所づくり	10. 財産や生活費の管理
11. 福祉の情報発信や啓発活動	12. 特になく、現状のままでよい
13. よくわからない	14. その他（ ）

(8) 市の取組みについて伺います

問33 地域福祉をさらに推進するため、市はどのようなことに力を入れる必要があると思いますか。あてはまるものを選択してください。(〇は3つまで)

1. 高齢者福祉の取組み	2. 障がい児・者福祉の取組み
3. 成年後見人制度の利用促進	4. 子育て支援に関する取組み
5. 子どもの福祉に関する取組み	6. 生活困窮に関する取組み
7. 健康づくりに関する取組み	8. 再犯防止に関する取組み
9. 防災・減災に関する取組み	10. 多文化共生に関する取組み
11. 相談支援に関する取組み	12. 福祉教育、意識啓発に関する取組み
13. 地域福祉の人材育成、担い手づくり	14. 住民同士のつながりの場と関係づくり
15. その他（具体的に： ）	
16. 特にない	

問34 地域のこういうところを良くすれば、地域がもっと住みやすくなるといった改善すべき点や、その他ご意見等がありましたら、自由にお書きください。

--

以上で質問はすべて終了です。長時間のご協力、誠にありがとうございました。